

5

直近加入の生命保険（個人年金保険を含む）

直近加入の生命保険（個人年金保険を含む）とは

（1）民保

2019（令和元）年から2024（令和6）年の本調査実施時点までの間に、いずれかの世帯員が加入した民保の生命保険のうち最も契約日の新しい生命保険契約のことを指している。これには下取り制度（転換制度）を利用して加入した生命保険契約も含まれる。

ここでの各項目の算出方法を、式に表すと次のとおりである。

$$\text{各加入年次の割合} = \frac{\text{各加入年次の選択肢を選択した世帯の総数}}{\text{民保の生命保険に加入している世帯の数}} \times 100$$

*各加入年次の割合については、2018（平成30）年以前に加入した世帯も含めて算出している。

上記以外は2019（令和元）年以降に民保の生命保険に加入している世帯を対象に、以下のように算出している。

$$\text{各加入者（被保険者）の割合} = \frac{\text{各加入者の選択肢を選択した世帯の総数}}{\text{2019（令和元）年以降に民保の生命保険に加入した世帯員のいる世帯の数}} \times 100$$

（2）かんぽ生命

かんぽ生命の直近加入契約の加入理由は最も契約日の新しい生命保険契約を対象に質問しているが、加入年次による絞り込みは行っていない。

※直近加入の期間

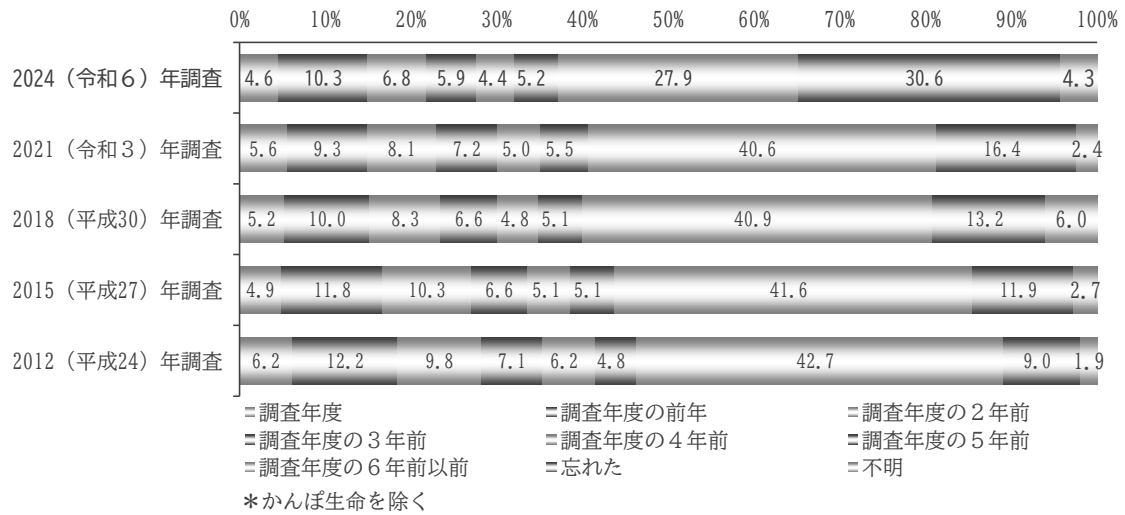
- ・「2024（令和6）年調査」…2019（令和元）年から2024（令和6）年の本調査時点までの間
- ・「2021（令和3）年調査」…2016（平成28）年から2021（令和3）年の本調査時点までの間
- ・「2018（平成30）年調査」…2013（平成25）年から2018（平成30）年の本調査時点までの間
- ・「2015（平成27）年調査」…2010（平成22）年から2015（平成27）年の本調査時点までの間
- ・「2012（平成24）年調査」…2007（平成19）年から2012（平成24）年の本調査時点までの間

(1) 直近加入の民間生命保険

(ア) 直近加入契約（民保）の加入年次

民保加入世帯（かんば生命を除く）における直近に加入した民保契約の加入年次をみると、「調査年度（2024（令和6）年）」4.6%、「調査年度の前年（2023（令和5）年）」10.3%、「調査年度の2年前（2022（令和4）年）」6.8%となっており、最近3年間に加入した割合は21.8%となっている。（図表 I-131）

〈図表 I-131〉 直近加入契約（民保）の加入年次



*各調査年度の加入年次別の割合は以下の表のようになっている

加入年次 調査年度	2024 (令和6) 年	2023 (令和5) 年	2022 (令和4) 年	2021 (令和3) 年	2020 (令和2) 年	2019 (令和元) 年	2018 (平成30) 年	2017 (平成29) 年	2016 (平成28) 年	2015 (平成27) 年	2014 (平成26) 年	2013 (平成25) 年	2012 (平成24) 年	2011 (平成23) 年	2010 (平成22) 年	2009 (平成21) 年	2008 (平成20) 年	2007 (平成19) 年
2024(令和6)年調査	4.6	10.3	6.8	5.9	4.4	5.2												
2021(令和3)年調査				5.6	9.3	8.1	7.2	5.0	5.5									
2018(平成30)年調査							5.2	10.0	8.3	6.6	4.8	5.1						
2015(平成27)年調査										4.9	11.8	10.3	6.6	5.1	5.1			
2012(平成24)年調査													6.2	12.2	9.8	7.1	6.2	4.8

(イ)直近加入契約（民保）の加入者（被保険者）

直近加入契約が2019（令和元）年以降の民保加入世帯（かんぽ生命を除く）について、その加入者を見ると、「世帯主」が59.2%（前回59.0%）となっており、次いで「配偶者」が23.5%（前回23.6%）、「子ども（計）」が14.6%（前回14.9%）の順となっている。（図表I-132）

〈図表 I -132〉 直近加入契約（民保）の加入者（被保険者）

(%)

	世帯主	配偶者	子ども (計)	子ども			その他	不明
				(未婚で 就学前・ 就学中)	(未婚で 就学終了)	(既婚・ 子どもの 配偶者)		
2024（令和6）年調査 （2019～2024年に加入）	59.2	23.5	14.6	8.0	5.8	0.9	1.1	1.5
2021（令和3）年調査 （2016～2021年に加入）	59.0	23.6	14.9	7.1	7.2	0.6	1.1	1.4
2018（平成30）年調査 （2013～2018年に加入）	61.7	23.5	13.1	5.1	6.9	1.1	0.9	0.8
2015（平成27）年調査 （2010～2015年に加入）	57.1	23.4	17.3	8.2	7.6	1.6	1.5	0.7
2012（平成24）年調査 （2007～2012年に加入）	56.5	21.4	19.8	8.9	8.9	2.0	1.2	1.0

*かんぽ生命を除く

(ウ)直近加入契約（民保）の加入決定者

直近加入契約が2019（令和元）年以降の民保加入世帯（かんぽ生命を除く）のうち、配偶者がいる世帯に、直近の加入に対し誰が最終的に加入を決定したかを尋ねたところ、「世帯主」が58.4%（前回54.8%）、「配偶者」が29.8%（前回31.1%）、「夫婦や家族で相談」が5.9%（前回7.9%）、「子ども」が4.4%（前回4.8%）となっている。（図表I-133）

〈図表 I -133〉 直近加入契約（民保）の加入決定者

(%)

	世帯主	配偶者	夫婦や家族 で相談	子ども	その他	不明
2024（令和6）年調査 （2019～2024年に加入）	58.4	29.8	5.9	4.4	0.7	0.7
2021（令和3）年調査 （2016～2021年に加入）	54.8	31.1	7.9	4.8	1.0	0.4
2018（平成30）年調査 （2013～2018年に加入）	55.1	31.0	8.5	4.8	0.2	0.4
2015（平成27）年調査 （2010～2015年に加入）	49.7	33.2	9.7	5.7	1.6	0.1
2012（平成24）年調査 （2007～2012年に加入）	50.3	32.6	9.4	6.5	1.1	0.1

*かんぽ生命を除く

*配偶者がいる世帯を対象に集計

加入者（被保険者）別にみると、「世帯主」、「配偶者」とともに自分自身の契約に関しては、本人が決定した割合が高く、「世帯主」81.6%、「配偶者」79.6%となっている。（図表 I -134）

〈図表 I -134〉直近加入契約（民保）の加入決定者（加入者（被保険者）別）

(%)

	世帯主	配偶者	夫婦や家族 で相談	子ども	その他	不明
全 体	58.4	29.8	5.9	4.4	0.7	0.7
世 帯 主	81.6	10.9	6.9	0.3	0.3	0.0
配 偶 者	17.0	79.6	3.0	0.0	0.0	0.4
子 ども（計）	37.5	29.8	5.4	25.6	1.8	0.0
子ども（未婚で就学前・就学中）	51.1	38.0	7.6	1.1	2.2	0.0
子ども（未婚で就学終了）	21.2	21.2	1.5	56.1	0.0	0.0

*かんぼ生命を除く

*配偶者がいる世帯を対象に集計

（エ）直近加入契約（民保）の保険料負担者

直近加入契約が2019（令和元）年以降の民保加入世帯（かんぼ生命を除く）のうち、配偶者がいる世帯に、直近に加入した契約の保険料を誰が負担しているかを尋ねたところ、「世帯主」が74.7%（前回75.4%）、「配偶者」が17.6%（前回16.3%）、「子ども」が5.4%（前回6.0%）となっている。（図表 I -135）

〈図表 I -135〉直近加入契約（民保）の保険料負担者

(%)

	世帯主	配偶者	子ども	その他	不明
2024（令和6）年調査 （2019～2024年に加入）	74.7	17.6	5.4	1.0	1.3
2021（令和3）年調査 （2016～2021年に加入）	75.4	16.3	6.0	1.7	0.6
2018（平成30）年調査 （2013～2018年に加入）	75.8	16.3	5.8	1.6	0.5
2015（平成27）年調査 （2010～2015年に加入）	76.2	14.5	7.0	1.9	0.4
2012（平成24）年調査 （2007～2012年に加入）	75.9	14.0	8.5	1.5	0.1

*かんぼ生命を除く

*配偶者がいる世帯を対象に集計

加入者（被保険者）別にみると、「世帯主」の契約は世帯主自身が負担している割合が9割を超えているのに対して、「配偶者」の契約では配偶者自身の負担割合は6割程度となっている。また、「子ども（未婚で就学前・就学中）」の契約では「世帯主」の負担割合が7割を超えている。（図表 I -136）

〈図表 I -136〉直近加入契約（民保）の保険料負担者（加入者（被保険者）別）

		(%)				
		世帯主	配偶者	子ども	その他	不明
全	体	74.7	17.6	5.4	1.0	1.3
世	帯	98.4	1.0	0.4	0.0	0.1
配	偶	35.2	62.6	0.0	0.7	1.5
子	ど	51.2	14.9	31.5	2.4	0.0
子	ども（未婚で就学前・就学中）	76.1	20.7	0.0	3.3	0.0
子	ども（未婚で就学終了）	21.2	9.1	69.7	0.0	0.0

*かんぽ生命を除く

*配偶者がいる世帯を対象に集計

(オ)直近加入契約（民保）の加入理由

直近加入契約が2019（令和元）年以降の民保加入世帯（かんぼ生命を除く）について、加入理由をみると、「希望にあった生命保険だったので」が36.9%（前回42.3%）と最も多くなっている。次いで「営業職員や代理店の人が親身になって説明してくれたので」20.7%（前回21.4%）、「掛金が安かったので」18.8%（前回18.7%）、「家族、友人、知人などにすすめられたので」14.8%（前回12.9%）の順となっている。

前回と比較すると、「営業職員や代理店の人が知り合いだったので」が2.2ポイント、「希望にあった生命保険だったので」が5.4ポイント、それぞれ減少している。（図表I-137）

〈図表I-137〉直近加入契約（民保）の加入理由（複数回答）

	希望にあつた生命保険だったので	営業職員や代理店の人が親身になって説明してくれたので	掛金が安かったので	家族、友人、知人などにすすめられたので	営業職員や代理店の人が知り合いだったので	以前から加入していた営業職員や代理店の人がすすめてくれたので	以前加入したことのある会社だった	従来なかつたような新しい生命保険だったので	加入後のサービスがよいと思つたので	個人年金保険は利回りがいいから	民間の生命保険会社の生命保険、ど、専門性を有していたので	営業職員がFPの資格を持つなど、健全な経営をしている会社だったので	テレビ、新聞、雑誌などで、しばしば見聞きしている会社なので	より、手続きが簡単でネットなどにより、販売やインターネットなどで	その他	不明
2024（令和6）年調査 （2019～2024年に加入）	36.9	20.7	18.8	14.8	12.9	12.4	7.0	7.0	4.9	4.2	3.5	3.4	3.1	1.8	5.2	0.6
2021（令和3）年調査 （2016～2021年に加入）	42.3	21.4	18.7	12.9	15.1	13.7	7.3	6.9	2.9	3.2	3.2	3.2	3.5	1.1	4.5	0.5
2018（平成30）年調査 （2013～2018年に加入）	39.3	24.8	21.3	10.8	14.2	14.6	8.6	6.3	2.8	4.2	3.7	5.5	3.6	1.1	5.0	0.8
2015（平成27）年調査 （2010～2015年に加入）	35.6	20.6	17.1	12.5	17.5	14.2	6.4	6.1	2.8	3.8	3.1	4.1	3.0	1.1	4.9	0.7
2012（平成24）年調査 （2007～2012年に加入）	34.4	20.8	21.5	13.0	20.1	14.6	7.8	4.5	3.1	3.8	2.1	5.4	3.9	1.0	5.6	0.8

*かんぼ生命を除く

選択肢を「商品要因」、「営業職員要因」、「加入機関（会社）要因」、「その他」と統合してみると（統合方法の詳細は下記注釈を参照）、「商品要因」が56.4%（前回58.9%）、「営業職員要因」が42.2%（前回45.1%）、「加入機関（会社）要因」が16.0%（前回15.3%）となっている。（図表 I-138）

〈図表 I-138〉直近加入契約（民保）の加入理由（要因別）（複数回答）

	商品要因	営業職員 要因	加入機関 （会社） 要因	その他	不明
2024（令和6）年調査 （2019～2024年に加入）	56.4	42.2	16.0	21.7	0.6
2021（令和3）年調査 （2016～2021年に加入）	58.9	45.1	15.3	18.5	0.5
2018（平成30）年調査 （2013～2018年に加入）	57.6	47.0	17.7	16.6	0.8
2015（平成27）年調査 （2010～2015年に加入）	51.9	47.2	14.6	18.4	0.7
2012（平成24）年調査 （2007～2012年に加入）	52.7	47.8	17.6	19.4	0.8

(%)

*かんぽ生命を除く

*選択肢の統合の詳細は、以下のとおりとなっている。

- 商品要因・・・「希望にあった生命保険だったので」
「従来なかったような新しい生命保険だったので」
「掛金が安かったので」
「民間の生命保険会社の生命保険、個人年金保険は利回りがいいから」
のいずれかを選択。
- 営業職員要因・・・「営業職員や代理店の人が親身になって説明してくれたので」
「営業職員や代理店の人が知り合いだったので」
「以前から加入していた営業職員や代理店の人にすすめられたので」
「営業職員がFPの資格を持つなど、専門性を有していたので」
のいずれかを選択。
- 加入機関（会社）要因・・・「加入後のサービスがよいと思ったので」
「テレビ、新聞、雑誌などで、しばしば見聞きしている会社なので」
「以前加入したことのある会社だったので」
「健全な経営をしている会社だったので」
のいずれかを選択。
- その他・・・「通信販売やインターネットなどにより、手続きが簡単にできたので」
「家族、友人、知人などにすすめられたので」
「その他」
のいずれかを選択。

(カ)直近加入契約（民保）の加入目的

直近加入契約が2019（令和元）年以降の民保加入世帯（かんぼ生命を除く）について、加入目的をみると、「医療費や入院費のため」が57.5%（前回59.0%）と最も多く、次いで「万一のときの家族の生活保障のため」50.0%（前回52.4%）、「万一のときの葬式代のため」12.4%（前回12.4%）の順となっている。

前回と比較すると、「万一のときの家族の生活保障のため」が2.4ポイント、「医療費や入院費のため」と「老後の生活資金のため」が1.5ポイント、それぞれ減少している。（図表I-139）

〈図表I-139〉直近加入契約（民保）の加入目的（複数回答）

	医療費や入院費のため	障 万 一 の と き の 家 族 の 生 活 保 障	万 一 の と き の 葬 式 代 の た め	老 後 の 生 活 資 金 の た め	貯 蓄 の た め	え 災 害 ・ 交 通 事 故 な ど に そ な え	た 子 ど も の 教 育 ・ 結 婚 資 金 の た め	介 護 費 用 の た め	済 万 一 の と き の ロ ー ン 等 の 返 済	税 金 が 安 く な る の た め	財 産 づ く り の た め	考 相 続 お よ び 相 続 税 の 支 払 を え て	土 地 ・ 家 屋 の 取 得 ・ 増 改 築 の た め	そ の 他	(%) 不 明
2024（令和6）年調査 （2019～2024年に加入）	57.5	50.0	12.4	7.6	6.9	6.4	6.0	4.7	2.4	2.3	1.9	1.8	0.2	1.0	0.5
2021（令和3）年調査 （2016～2021年に加入）	59.0	52.4	12.4	9.1	5.8	7.8	7.8	4.8	3.4	1.6	2.5	1.6	0.2	1.1	0.6
2018（平成30）年調査 （2013～2018年に加入）	57.1	49.5	15.4	10.8	8.6	8.3	7.4	3.8	2.1	1.7	2.4	2.8	0.1	1.3	0.4
2015（平成27）年調査 （2010～2015年に加入）	58.5	53.1	13.0	7.7	6.1	7.7	7.9	2.9	1.9	1.5	1.2	1.8	0.4	0.7	0.5
2012（平成24）年調査 （2007～2012年に加入）	59.6	51.7	13.7	8.6	6.7	8.8	8.6	3.1	1.9	1.4	0.9	0.8	0.1	1.5	0.7

*かんぼ生命を除く

世帯主年齢別にみると、「万一のときの家族の生活保障のため」は「29歳以下」、「35～39歳」、「45～49歳」および「50～54歳」で、「子どもの教育・結婚資金のため」は「29歳以下」から「40～44歳」で、「万一のときの葬式代のため」は「65～69歳」、「75～79歳」および「80～84歳」で、「介護費用のため」は「65～69歳」でそれぞれ高くなっているなど、世代ごとの保障ニーズの違いを反映した結果となっている。（図表 I-140）

〈図表 I-140〉直近加入契約（民保）の加入目的（世帯主年齢別）（複数回答）

	医療費や入院費のため	障 万 一 の 時 の 家 族 の 生 活 保 障	万 一 の 時 の 葬 式 代 の た め	老 後 の 生 活 資 金 の た め	貯 蓄 の た め	災 害 ・ 交 通 事 故 な ど に そ な え て	子 ど も の 教 育 ・ 結 婚 資 金 の た め	介 護 費 用 の た め	万 一 の 時 の ロ ー ン 等 の 返 済 の た め	税 金 が 安 く な る の た め	財 産 づ く り の た め	相 続 お よ び 相 続 税 の 支 払 を 考 え て	土 地 ・ 家 屋 の 取 得 ・ 増 改 築 の た め	そ の 他	不 明
全 体	57.5	50.0	12.4	7.6	6.9	6.4	6.0	4.7	2.4	2.3	1.9	1.8	0.2	1.0	0.5
29歳以下	44.1	67.6	2.9	11.8	11.8	2.9	20.6	0.0	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0
30～34歳	45.6	59.6	7.0	14.0	12.3	1.8	12.3	3.5	5.3	5.3	3.5	0.0	0.0	3.5	0.0
35～39歳	41.2	75.6	3.8	7.6	7.6	6.1	13.7	0.8	3.8	2.3	0.8	0.0	0.0	0.8	0.8
40～44歳	55.1	57.1	11.2	11.2	6.1	6.1	18.4	4.1	8.2	4.1	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0
45～49歳	57.6	60.0	4.0	1.6	6.4	8.0	7.2	3.2	3.2	1.6	3.2	0.8	0.0	0.0	0.0
50～54歳	54.0	58.9	11.3	9.7	4.0	11.3	1.6	2.4	1.6	4.0	2.4	0.8	0.0	0.8	0.0
55～59歳	70.3	43.0	15.6	6.3	5.5	6.3	2.3	5.5	0.8	2.3	0.8	0.8	0.0	0.8	0.8
60～64歳	60.6	48.0	11.8	7.1	7.9	2.4	1.6	7.1	0.0	1.6	3.1	1.6	0.8	1.6	0.0
65～69歳	64.9	28.1	20.2	5.3	8.8	4.4	1.8	12.3	1.8	0.9	2.6	2.6	0.9	0.0	0.9
70～74歳	65.8	32.4	17.1	6.3	3.6	6.3	0.9	4.5	0.0	0.9	0.9	2.7	0.0	0.9	0.9
75～79歳	58.9	30.4	26.8	10.7	5.4	10.7	0.0	7.1	1.8	3.6	0.0	12.5	0.0	0.0	1.8
80～84歳	60.0	30.0	30.0	6.7	10.0	10.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	6.7	0.0
85～89歳	50.0	37.5	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0
90歳以上	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

*かんぽ生命を除く

*85～89歳、90歳以上はサンプルが30未満

加入者（被保険者）別にみると、「万一のときの家族の生活保障のため」および「万一のときの葬式代のため」は「世帯主」でそれぞれ61.3%、14.1%と高く、「老後の生活資金のため」は「配偶者」で11.5%、「子どもの教育・結婚資金のため」は「子ども（未婚で就学前・就学中）」で22.8%とそれぞれ高くなっている。（図表 I-141）

〈図表 I-141〉直近加入契約（民保）の加入目的（加入者（被保険者）別）（複数回答）

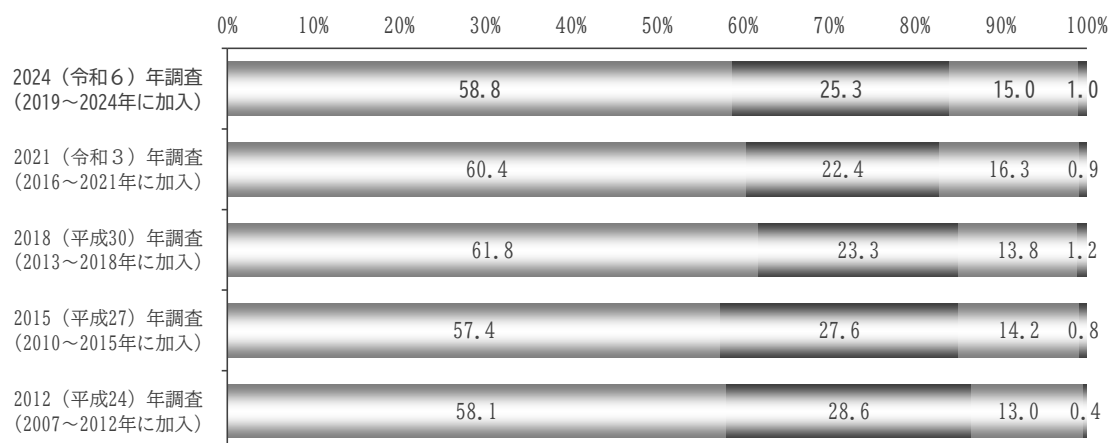
	医療費や入院費のため	障 万 一 の 時 の 家 族 の 生 活 保 障	万 一 の 時 の 葬 式 代 の た め	老 後 の 生 活 資 金 の た め	貯 蓄 の た め	災 害 ・ 交 通 事 故 な ど に そ な え て	子 ど も の 教 育 ・ 結 婚 資 金 の た め	介 護 費 用 の た め	万 一 の 時 の ロ ー ン 等 の 返 済 の た め	税 金 が 安 く な る の た め	財 産 づ く り の た め	考 え て 相 続 お よ び 相 続 税 の 支 払 を	土 地 ・ 家 屋 の 取 得 ・ 増 改 築 の た め	そ の 他	不 明
全 体	57.5	50.0	12.4	7.6	6.9	6.4	6.0	4.7	2.4	2.3	1.9	1.8	0.2	1.0	0.5
世 帯 主	54.9	61.3	14.1	7.8	6.6	5.6	4.0	5.0	3.1	2.2	1.8	1.9	0.1	1.0	0.4
配 偶 者	61.9	38.1	10.7	11.5	8.1	5.9	5.9	6.7	2.2	1.5	3.0	1.9	0.0	0.4	0.0
子 ど も （ 計 ）	60.1	27.4	7.1	1.2	6.5	10.7	13.1	0.6	0.0	4.2	1.2	1.8	0.0	1.2	1.2
子 ど も （ 未 婚 で 就 学 前 ・ 就 学 中 ）	55.4	26.1	0.0	0.0	1.1	9.8	22.8	0.0	0.0	2.2	1.1	0.0	0.0	2.2	2.2
子 ど も （ 未 婚 で 就 学 終 了 ）	66.7	25.8	15.2	1.5	13.6	10.6	1.5	1.5	0.0	7.6	1.5	3.0	0.0	0.0	0.0

*かんぼ生命を除く

(キ)直近加入契約（民保）の加入方法（新規加入か否か）

直近加入契約が2019（令和元）年以降の民保加入世帯（かんぼ生命を除く）について、加入方法をみると、「新規に加入」が58.8%（前回60.4%）と最も多く、次いで「下取り制度（転換制度）を利用して加入」25.3%（前回22.4%）、「これまで加入していた生命保険を解約あるいは掛金の払込を中止して、新しい生命保険に加入」15.0%（前回16.3%）の順となっている。（図表 I-142）

〈図表 I-142〉直近加入契約（民保）の加入方法（新規加入か否か）



■新規に加入
 ■下取り制度（転換制度）を利用して加入
 ■これまで加入していた生命保険を解約あるいは掛金の払込を中止して、新しい生命保険に加入
 ■不明

※かんぼ生命を除く

世帯主年齢別にみると、「新規に加入」は「29歳以下」で76.5%と高くなっている。「下取り制度（転換制度）を利用して加入」は「55～59歳」（35.2%）、「60～64歳」（34.6%）および「70～74歳」（33.3%）でそれぞれ高くなっている。（図表 I-143）

〈図表 I-143〉直近加入契約（民保）の加入方法（新規加入か否か）
（世帯主年齢別）

	新規に加入	下取り制度（転換制度）を利用して	これまでに加入していた生命保険に加入し	不明
全体	58.8	25.3	15.0	1.0
29歳以下	76.5	2.9	20.6	0.0
30～34歳	61.4	17.5	21.1	0.0
35～39歳	66.4	13.0	20.6	0.0
40～44歳	66.3	16.3	17.3	0.0
45～49歳	66.4	21.6	12.0	0.0
50～54歳	59.7	25.0	14.5	0.8
55～59歳	52.3	35.2	10.9	1.6
60～64歳	49.6	34.6	12.6	3.1
65～69歳	56.1	28.9	13.2	1.8
70～74歳	45.0	33.3	20.7	0.9
75～79歳	62.5	26.8	8.9	1.8
80～84歳	56.7	36.7	6.7	0.0
85～89歳	75.0	12.5	12.5	0.0
90歳以上	50.0	50.0	0.0	0.0

*かんぽ生命を除く

*85～89歳、90歳以上はサンプルが30未満

加入者（被保険者）別にみると、「新規に加入」は「子ども（未婚で就学前・就学中）」で87.0%と高く、「下取り制度（転換制度）を利用して加入」および「これまで加入していた生命保険を解約あるいは掛金の払込を中止して、新しい生命保険に加入」は「世帯主」でそれぞれ29.0%、17.8%と高くなっている。（図表 I-144）

〈図表 I-144〉直近加入契約（民保）の加入方法（新規加入か否か）
（加入者（被保険者）別）

	新規に加入	下取り制度（転換制度）を利用して加入	これまで加入していた生命保険の払込を中止して、新しい生命保険に加入	不明	(%)
全体	58.8	25.3	15.0	1.0	
世帯主	52.6	29.0	17.8	0.6	
配偶者	61.1	23.7	14.4	0.7	
子ども（計）	80.4	14.3	5.4	0.0	
子ども（未婚で就学前・就学中）	87.0	7.6	5.4	0.0	
子ども（未婚で就学終了）	75.8	18.2	6.1	0.0	

*かんぽ生命を除く

(ク)直近加入契約（民保）の加入時の情報入手経路

直近加入契約が 2019（令和元）年以降の民保加入世帯（かんぽ生命を除く）について、加入時の情報入手経路をみると、「生命保険会社の営業職員」が 44.8%（前回 45.1%）と最も多く、次いで「保険代理店」12.9%（前回 13.9%）、「友人・知人」12.6%（前回 12.7%）、「家族・親類」11.5%（前回 12.6%）の順となっている。

前回と比較すると、「銀行・証券会社の窓口や営業職員」が 1.9 ポイント、「郵便局の窓口や営業職員」が 1.4 ポイント、「ダイレクトメール」が 1.2 ポイント、それぞれ減少している。（図表 I-145）

〈図表 I-145〉直近加入契約（民保）の加入時の情報入手経路（複数回答）

	生命保険会社の営業職員	保険代理店	営業職員	保険代理店（金融機関を除く）の窓口	保険代理店（金融機関を除く）のショップ等	友人・知人	家族・親類	税理士・公認会計士	ファイナンシャル・プランナーや	テレビ・新聞・雑誌・書籍	商品カタログ・パンフレット	銀行・証券会社の窓口や営業職員	生命保険に関する情報を提供しているホームページ	生命保険会社の窓口	生命保険に関する情報提供や相談を受け付ける第三者機関	その会社や代理店のホームページ	職場の同僚・上司	郵便局の窓口や営業職員	ダイレクトメール	経営状況に関する資料	決算報告書など生命保険会社の	その他	不明
2024（令和6）年調査 （2019～2024年に加入）	44.8	12.9	9.2	3.8	12.6	11.5	5.9	5.3	5.1	4.5	3.7	2.1	2.1	2.0	1.8	1.4	1.2	0.1	3.1	0.4			
2021（令和3）年調査 （2016～2021年に加入）	45.1	13.9	8.6	5.5	12.7	12.6	5.5	4.9	5.6	6.4	3.8	2.8	2.4	1.7	2.2	2.8	2.4	0.3	3.7	0.5			
2018（平成30）年調査 （2013～2018年に加入）	46.5	15.8	9.1	7.3	10.3	9.9	6.4	5.6	8.4	5.6	4.1	2.7	2.1	2.3	2.7	5.6	1.8	0.1	2.4	0.6			
2015（平成27）年調査 （2010～2015年に加入）	48.9	12.9	8.6	4.3	10.9	11.5	3.9	5.3	6.3	6.3	2.7	1.5	1.9	1.6	3.1	3.8	1.5	0.2	2.5	0.8			
2012（平成24）年調査 （2007～2012年に加入）	52.7	10.4	—	—	14.0	11.4	2.4	6.6	8.5	4.1	2.7	0.9	2.5	1.9	3.0	3.7	2.2	0.1	2.1	0.7			

*かんぽ生命を除く

*2015（平成27）年調査より「保険代理店」を2つに細分化し、「保険代理店（金融機関を除く）の営業職員」と「保険代理店（金融機関を除く）の窓口」としている

選択肢を「生保チャンネル」と「非生保チャンネル」、「人を介したチャンネル」と「人を介さないチャンネル」の4つの組合せに分類してみると、「生保・人を介したチャンネル」が58.3%（前回60.1%）と最も多く、次いで「非生保・人を介したチャンネル」37.2%（前回40.3%）、「非生保・人を介さないチャンネル」8.3%（前回8.1%）の順となっている。（図表I-146）

〈図表I-146〉直近加入契約（民保）の加入時の情報入手経路（チャンネル別）（複数回答）

	(%)					
	生保・人を介したチャンネル	非生保・人を介したチャンネル	非生保・人を介さないチャンネル	生保・人を介さないチャンネル	その他	不明
2024（令和6）年調査 （2019～2024年に加入）	58.3	37.2	8.3	7.8	3.1	0.4
2021（令和3）年調査 （2016～2021年に加入）	60.1	40.3	8.1	8.8	3.7	0.5
2018（平成30）年調査 （2013～2018年に加入）	62.7	37.8	8.9	10.8	2.4	0.6
2015（平成27）年調査 （2010～2015年に加入）	61.4	37.6	7.6	8.6	2.5	0.8
2012（平成24）年調査 （2007～2012年に加入）	63.0	37.7	8.8	11.6	2.1	0.7

*かんぽ生命を除く

*選択肢の統合の詳細は、以下のとおりとなっている。

- 生保・人を介したチャンネル・・・「生命保険会社の営業職員」
「保険代理店（金融機関を除く）の営業職員」
「保険代理店（金融機関を除く保険ショップ等）の窓口」
「生命保険会社の窓口」
のいずれかを選択。
- 非生保・人を介したチャンネル・・・「郵便局の窓口や営業職員」
「銀行・証券会社の窓口や営業職員」
「家族・親類」
「友人・知人」
「職場の同僚・上司」
「ファイナンシャル・プランナーや税理士・公認会計士」
「生命保険に関する情報提供や相談を受け付ける第三者機関」
のいずれかを選択。
- 非生保・人を介さないチャンネル・・・「テレビ・新聞・雑誌・書籍」
「生命保険に関する情報を提供しているホームページ」
のいずれかを選択。
- 生保・人を介さないチャンネル・・・「決算報告書など生命保険会社の経営状況に関する資料」
「商品カタログ・パンフレット」
「ダイレクトメール」
「その会社や代理店のホームページ」
のいずれかを選択。
- その他・・・「その他」を選択。

世帯主年齢別にみると、『生保・人を介したチャネル』は「60～64歳」で69.3%と高く、『非生保・人を介したチャネル』は「29歳以下」(61.8%) および「35～39歳」(45.8%)で、『生保・人を介さないチャネル』は「50～54歳」(14.5%) および「65～69歳」(14.0%)で、『非生保・人を介さないチャネル』は「75～79歳」(16.1%) および「80～84歳」(20.0%)で、それぞれ高くなっている。

個々のチャネルについてみると、「生命保険会社の営業職員」は「60～64歳」で、「保険代理店(金融機関を除く)の営業職員」は「45～49歳」で、「ファイナンシャル・プランナーや税理士・公認会計士」は「29歳以下」、「35～39歳」、「50～54歳」でそれぞれ高くなっている。(図表 I-147)

〈図表 I-147〉直近加入契約(民保)の加入時の情報入手経路(世帯主年齢別)
(複数回答)

	生保・人を介したチャネル		生命保険会社の営業職員					非生保・人を介したチャネル					生保・人を介さないチャネル					その他		不明				
	生命保険会社の営業職員	保険代理店	保険代理店(金融機関を除く)の営業職員	等)の窓口	生命保険会社の窓口	友人・知人	家族・親類	ファイナンシャル・プランナーや税理士・公認会計士	銀行・証券会社の窓口や営業職員	生命保険に関する情報提供や相談を受け付ける第三者機関	職場の同僚・上司	郵便局の窓口や営業職員	生保・人を介さないチャネル	商品カタログ・パンフレット	その会社や代理店のホームページ	ダイレクトメール	決算報告書など生命保険会社の経営状況に関する資料	非生保・人を介さないチャネル	テレビ・新聞・雑誌・書籍		ページ	生命保険に関する情報を提供しているホームページ		
全体	58.3	44.8	12.9	9.2	3.8	2.1	37.2	12.6	11.5	5.9	4.5	2.1	1.8	1.4	7.8	5.1	2.0	1.2	0.1	8.3	5.3	3.7	3.1	0.4
29歳以下	41.2	29.4	11.8	11.8	0.0	0.0	61.8	11.8	38.2	14.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	5.9	2.9	0.0
30～34歳	57.9	45.6	15.8	14.0	1.8	1.8	38.6	8.8	14.0	10.5	3.5	0.0	3.5	0.0	1.8	0.0	1.8	0.0	0.0	5.3	1.8	3.5	1.8	1.8
35～39歳	55.7	38.2	16.0	9.9	6.1	2.3	45.8	13.0	14.5	15.3	2.3	1.5	2.3	0.0	3.8	2.3	1.5	0.0	0.0	5.3	3.1	4.6	3.1	0.0
40～44歳	61.2	49.0	11.2	10.2	1.0	4.1	41.8	16.3	18.4	5.1	2.0	1.0	1.0	1.0	7.1	4.1	2.0	2.0	0.0	4.1	2.0	2.0	3.1	1.0
45～49歳	53.6	36.8	18.4	14.4	4.8	2.4	38.4	17.6	11.2	5.6	1.6	2.4	1.6	1.6	8.8	5.6	2.4	1.6	0.0	8.0	2.4	6.4	6.4	0.0
50～54歳	54.8	44.4	9.7	4.8	4.8	1.6	37.9	12.9	9.7	10.5	4.0	3.2	3.2	0.8	14.5	11.3	2.4	0.8	0.0	11.3	7.3	5.6	3.2	0.8
55～59歳	60.9	48.4	10.2	7.8	3.1	2.3	32.0	14.1	9.4	2.3	2.3	3.1	0.0	2.3	4.7	2.3	1.6	0.8	0.0	7.8	4.7	3.1	2.3	0.8
60～64歳	69.3	54.3	13.4	7.9	5.5	1.6	29.9	12.6	7.9	1.6	4.7	1.6	3.9	0.8	3.1	3.1	0.0	0.0	0.0	6.3	4.7	1.6	3.9	0.0
65～69歳	54.4	42.1	14.0	9.6	4.4	0.0	34.2	7.0	9.6	1.8	10.5	3.5	0.0	2.6	14.0	7.0	5.3	2.6	0.0	11.4	7.0	5.3	0.9	0.0
70～74歳	64.0	49.5	12.6	9.9	2.7	2.7	38.7	11.7	11.7	3.6	4.5	1.8	2.7	3.6	7.2	5.4	0.9	0.9	0.0	8.1	7.2	1.8	0.9	0.0
75～79歳	53.6	42.9	8.9	5.4	3.6	3.6	25.0	8.9	3.6	1.8	8.9	1.8	1.8	0.0	14.3	12.5	0.0	1.8	1.8	16.1	14.3	1.8	1.8	1.8
80～84歳	56.7	50.0	3.3	0.0	3.3	3.3	33.3	13.3	0.0	0.0	13.3	3.3	0.0	3.3	10.0	3.3	6.7	6.7	0.0	20.0	20.0	3.3	3.3	0.0
85～89歳	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
90歳以上	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

*かんぽ生命を除く

*85～89歳、90歳以上はサンプルが30未満

(ケ)直近加入契約（民保）の加入時の商品比較経験

直近加入契約が2019（令和元）年以降の民保加入世帯（かんぼ生命を除く）について、加入時の商品比較経験をみると、「特に比較はしなかった」が69.7%（前回67.7%）と最も多く、次いで「他の民間の生命保険会社の生命保険（かんぼ生命を除く）」25.2%（前回26.5%）、「県民共済・生協等の生命共済」5.2%（前回5.2%）の順となっている。（図表I-148）

〈図表I-148〉直近加入契約（民保）の加入時の商品比較経験（複数回答）

	(%)						
	他の民間の生命保険（かんぼ生命を除く）	県民共済・生協等の生命共済	J A の生命共済	かんぼ生命	社（生命保険以外の金融商品、株、債、預貯金、株式等）	特に比較はしなかった	不明
2024（令和6）年調査 （2019～2024年に加入）	25.2	5.2	2.1	1.5	1.4	69.7	0.9
2021（令和3）年調査 （2016～2021年に加入）	26.5	5.2	1.7	2.7	0.9	67.7	1.0
2018（平成30）年調査 （2013～2018年に加入）	26.9	3.9	1.5	3.8	0.8	66.7	1.2
2015（平成27）年調査 （2010～2015年に加入）	24.7	4.6	1.3	3.6	0.9	69.6	1.1
2012（平成24）年調査 （2007～2012年に加入）	27.1	6.8	1.5	2.9	0.7	66.4	0.9

*かんぼ生命を除く

*2012（平成24）年調査まで「郵便局の簡易保険（かんぼ生命を除く）」を選択肢に入っていた（2012（平成24）年調査：3.2%）

世帯主年齢別にみると、「他の民間の生命保険会社の生命保険（かんぽ生命を除く）」は「75歳以上」の層で3割を超えている。（図表 I-149）

〈図表 I-149〉直近加入契約（民保）の加入時の商品比較経験（世帯主年齢別）
（複数回答）

	をの他 除の生 く命民 の間の 生命保 険（生 命保 険会 社	共 済民 共 済・ 生 協 等 の 生 命	J A の 生 命 共 済	か ん ぽ 生 命	社 （生 命保 険以 外 の 金 融 、 商 品 株 式 等 ）	特 に 比 較 は し な か つ た	不 明
全 体	25.2	5.2	2.1	1.5	1.4	69.7	0.9
29歳以下	26.5	2.9	2.9	0.0	0.0	70.6	0.0
30～34歳	28.1	1.8	0.0	0.0	0.0	70.2	0.0
35～39歳	27.5	5.3	3.8	1.5	3.8	66.4	0.8
40～44歳	21.4	5.1	1.0	1.0	2.0	73.5	1.0
45～49歳	26.4	8.8	1.6	0.0	0.8	68.0	0.0
50～54歳	24.2	6.5	0.8	1.6	0.8	67.7	1.6
55～59歳	18.8	8.6	2.3	2.3	0.8	76.6	0.8
60～64歳	26.8	3.9	3.1	0.8	0.8	67.7	2.4
65～69歳	27.2	6.1	2.6	4.4	0.9	67.5	0.0
70～74歳	19.8	2.7	0.9	1.8	2.7	75.7	0.9
75～79歳	32.1	0.0	5.4	1.8	1.8	64.3	1.8
80～84歳	33.3	3.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
85～89歳	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	62.5	0.0
90歳以上	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

*かんぽ生命を除く

*85～89歳、90歳以上はサンプルが30未満

(コ)直近加入契約（民保）の加入チャネル

直近加入契約が2019（令和元）年以降の民保加入世帯（かんぼ生命を除く）について、加入経路（加入チャネル）を尋ねたところ、「生命保険会社の営業職員」が56.7%（前回55.9%）と最も多く、次いで「保険代理店の窓口や営業職員」15.7%（前回15.3%）、「通信販売」7.8%（前回6.4%）となっている。

前回と比較すると、「インターネットを通じて」が1.9ポイント増加し、「地方銀行、信用金庫、信用組合の窓口や銀行員」が1.5ポイント減少している。（図表I-150）

〈図表I-150〉直近加入契約（民保）の加入チャネル

	生命保険会社の営業職員			通信販売			生命保険会社の窓口			銀行・証券会社を通して					保険代理店の窓口や営業職員		勤め先や労働組合等を通じて		その他		不明
	家庭に来る営業職員	職場に来る営業職員	職場に	インターネットを通じて	テレビ・新聞・雑誌などを通じて	インターネットを通じて	郵便局の窓口や営業職員	銀行・証券会社を通して	銀行を通して	都市銀行の窓口や銀行員（ゆうちょ銀行を含む）	地方銀行、信用金庫、信用組合の窓口や銀行員	信託銀行の窓口や銀行員	証券会社の窓口や営業職員	保険代理店の窓口や営業職員	保険代理店（金融機関を除く）の営業職員	保険代理店（金融機関を除く）の営業職員	勤め先や労働組合等を通じて	その他	不明		
2024（令和6）年調査 （2019～2024年に加入）	56.7	45.5	11.2	7.8	5.9	1.9	3.1	1.5	4.7	4.4	1.8	2.4	0.3	0.3	15.7	7.0	8.7	3.4	6.4	0.7	
2021（令和3）年調査 （2016～2021年に加入）	55.9	44.5	11.5	6.4	4.0	2.5	3.2	2.6	6.2	6.0	1.7	3.9	0.4	0.2	15.3	6.6	8.7	3.6	6.1	0.6	
2018（平成30）年調査 （2013～2018年に加入）	53.7	43.2	10.5	6.5	3.3	3.3	2.9	4.2	5.4	4.9	2.7	1.8	0.4	0.5	17.8	7.8	9.9	3.4	5.6	0.6	
2015（平成27）年調査 （2010～2015年に加入）	59.4	47.5	12.0	5.6	2.2	3.4	3.1	3.0	5.5	5.3	2.3	2.7	0.3	0.2	13.7	4.7	9.0	4.8	4.1	0.7	
2012（平成24）年調査 （2007～2012年に加入）	68.2	53.0	15.2	8.8	4.5	4.3	2.5	2.1	4.3	4.2	1.9	2.3	0.1	0.1	6.9	—	—	3.2	3.2	0.8	

*かんぼ生命を除く

*2015（平成27）年調査より「保険代理店」を「保険代理店（金融機関を除く保険ショップ等）の窓口」と「保険代理店（金融機関を除く）の営業職員」の2つに細分化しているため、単純に時系列比較はできない

世帯主年齢別にみると、「生命保険会社の営業職員」は「60～64歳」で、「インターネットを通じて」は「45～49歳」および「50～54歳」で、「テレビ・新聞・雑誌などを通して」は「75～79歳」で、「銀行・証券会社を通して」は「65～69歳」、「75～79歳」および「80～84歳」で、「保険代理店の窓口や営業職員」は「35～39歳」で、それぞれ高くなっている。

(図表 I-151)

〈図表 I-151〉直近加入契約(民保)の加入チャンネル(世帯主年齢別)

	(%)																			
	生命保険会社の営業職員	家庭に来る営業職員	職場に来る営業職員	通信販売	インターネットを通じて	テレビ・新聞・雑誌などを通して	生命保険会社の窓口	郵便局の窓口や営業職員	銀行・証券会社を通して	銀行を通して	都市銀行の窓口や銀行員(ゆうちょ銀行を含む)	地方銀行、信用金庫、信用組合の窓口や銀行員	信託銀行の窓口や銀行員	証券会社の窓口や営業職員	保険代理店の窓口や営業職員	保険代理店(金融機関を除く)の営業職員	保険代理店(金融機関を除く)の営業職員	保険代理店(金融機関を除く)の営業職員	勤め先や労働組合等を通じて	その他
全 体	56.7	45.5	11.2	7.8	5.9	1.9	3.1	1.5	4.7	4.4	1.8	2.4	0.3	0.3	15.7	7.0	8.7	3.4	6.4	0.7
29歳以下	67.6	61.8	5.9	8.8	5.9	2.9	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.7	2.9	11.8	0.0	5.9	0.0
30～34歳	57.9	42.1	15.8	3.5	3.5	0.0	3.5	0.0	3.5	3.5	1.8	1.8	0.0	0.0	15.8	7.0	8.8	3.5	12.3	0.0
35～39歳	51.9	34.4	17.6	4.6	3.1	1.5	3.8	0.0	3.1	3.1	1.5	1.5	0.0	0.0	22.1	11.5	10.7	6.1	7.6	0.8
40～44歳	59.2	43.9	15.3	6.1	5.1	1.0	4.1	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	10.2	5.1	5.1	6.1	11.2	1.0
45～49歳	56.0	51.2	4.8	11.2	11.2	0.0	4.0	1.6	0.8	0.8	0.0	0.8	0.0	0.0	16.0	4.0	12.0	4.8	5.6	0.0
50～54歳	51.6	37.1	14.5	15.3	13.7	1.6	4.0	0.0	4.0	4.0	1.6	2.4	0.0	0.0	16.9	7.3	9.7	2.4	5.6	0.0
55～59歳	57.8	43.8	14.1	7.0	7.0	0.0	4.7	2.3	3.1	2.3	0.0	2.3	0.0	0.8	15.6	7.0	8.6	1.6	6.3	1.6
60～64歳	66.9	52.0	15.0	3.9	2.4	1.6	2.4	0.0	4.7	3.9	1.6	1.6	0.8	0.8	15.0	7.1	7.9	2.4	4.7	0.0
65～69歳	53.5	46.5	7.0	9.6	7.0	2.6	0.0	1.8	10.5	9.6	5.3	2.6	1.8	0.9	17.5	9.6	7.9	1.8	4.4	0.9
70～74歳	58.6	52.3	6.3	3.6	2.7	0.9	3.6	4.5	5.4	5.4	1.8	3.6	0.0	0.0	14.4	5.4	9.0	4.5	4.5	0.9
75～79歳	51.8	48.2	3.6	14.3	0.0	14.3	3.6	1.8	10.7	10.7	3.6	7.1	0.0	0.0	10.7	5.4	5.4	1.8	1.8	3.6
80～84歳	50.0	46.7	3.3	10.0	3.3	6.7	0.0	6.7	13.3	13.3	6.7	6.7	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	3.3	6.7	0.0
85～89歳	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
90歳以上	75.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

*かんぽ生命を除く

*85～89歳、90歳以上はサンプルが30未満

(サ)直近加入契約（民保）の保険料

直近加入契約が2019（令和元）年以降の民保加入世帯（かんぼ生命を除く）のうち、直近に加入した契約の保険料の払込方法を尋ねたところ、「月・半年・年ごとに支払っている」が85.0%（前回86.5%）と最も多く、次いで「一時払にした」7.8%（前回6.6%）が続いている。

前回と比較すると、大きな差異はみられなかった。（図表I-152）

〈図表I-152〉直近加入契約（民保）の保険料払込方法

	(%)			
	一時払にした	月・半年・年ごとに支払っている	月・半年・年ごとの支払いは完了	不明
2024（令和6）年調査 （2019～2024年に加入）	7.8	85.0	3.6	3.7
2021（令和3）年調査 （2016～2021年に加入）	6.6	86.5	3.3	3.6
2018（平成30）年調査 （2013～2018年に加入）	11.2	79.6	3.7	5.6
2015（平成27）年調査 （2010～2015年に加入）	9.7	84.4	3.2	2.6
2012（平成24）年調査 （2007～2012年に加入）	7.1	88.6	2.3	2.0

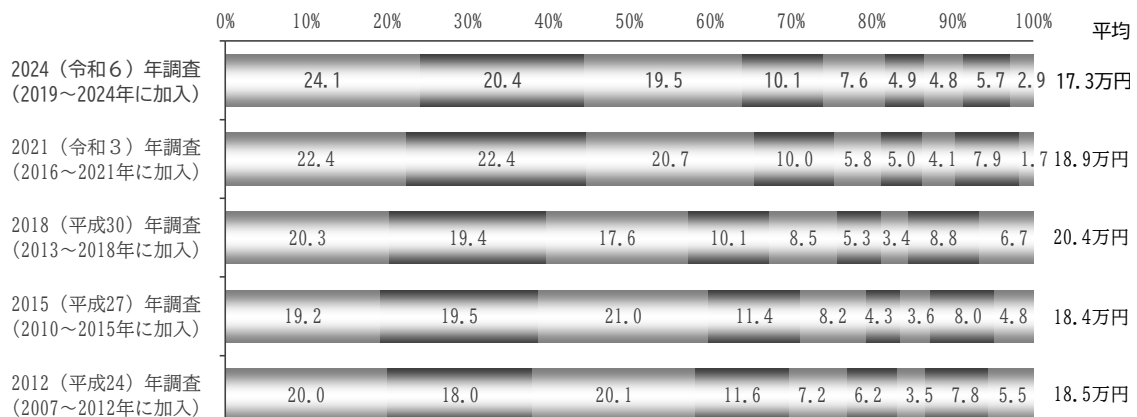
*かんぼ生命を除く

直近加入契約が2019（令和元）年以降の民保加入世帯（かんぼ生命を除く）のうち、直近に加入した契約の保険料を月・半年・年ごとに支払っている世帯に対して、その年間払込保険料を尋ねたところ、平均17.3万円（前回18.9万円）となっている。

分布をみると、「6万円未満」が24.1%（前回22.4%）と最も多く、次いで「6～12万円未満」20.4%（前回22.4%）、「12～18万円未満」19.5%（前回20.7%）が続いている。

前回と比較すると、大きな差異はみられなかった。（図表I-153）

〈図表I-153〉直近加入契約（民保）の年間払込保険料



■6万円未満 ■6～12万円未満 ■12～18万円未満 ■18～24万円未満 ■24～30万円未満
 ■30～36万円未満 ■36～42万円未満 ■42万円以上 ■不明

*かんぼ生命を除く

加入者（被保険者）別にみると、「世帯主」が平均 19.1 万円と最も高くなっている。（図表 I -154）

〈図表 I -154〉直近加入契約（民保）の年間払込保険料（加入者（被保険者）別）

		(%)									平均 (万円)
		6万円 未満	6~12 万円 未満	12~18 万円 未満	18~24 万円 未満	24~30 万円 未満	30~36 万円 未満	36~42 万円 未満	42万円 以上	不明	
全	体	24.1	20.4	19.5	10.1	7.6	4.9	4.8	5.7	2.9	17.3
世	帯	18.6	17.9	20.3	12.0	10.0	6.0	5.9	6.5	2.8	19.1
配	偶	28.8	24.9	20.1	8.3	2.6	4.8	3.5	4.8	2.2	15.8
子	ども	39.2	23.8	14.7	4.9	5.6	0.7	3.5	4.2	3.5	12.4
子	ども	48.1	23.5	9.9	2.5	3.7	1.2	4.9	2.5	3.7	9.6
子	ども	29.1	27.3	20.0	7.3	7.3	0.0	1.8	5.5	1.8	15.1

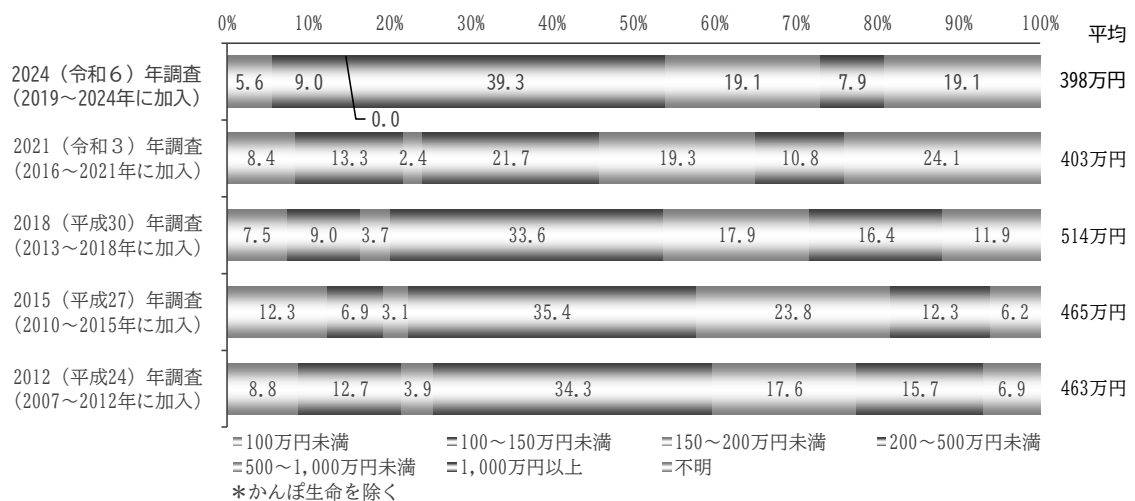
*かんぽ生命を除く

一方、直近加入契約が 2019（令和元）年以降の民保加入世帯（かんぽ生命を除く）のうち、直近に加入した契約の保険料を一時払で支払った世帯に対して、その保険料を尋ねたところ、398 万円（前回 403 万円）となっている。

分布をみると、「200～500 万円未満」が 39.3%（前回 21.7%）と最も多く、次いで「500～1,000 万円未満」19.1%（前回 19.3%）が続いている。

前回と比較すると、「200～500 万円未満」が 17.6 ポイント増加している。（図表 I -155）

〈図表 I -155〉直近加入契約（民保）の一時払保険料



(シ)直近加入契約（民保）の保険種類

直近加入契約が2019（令和元）年以降の民保加入世帯（かんぽ生命を除く）について、直近に加入した契約の保険種類をみると、「終身保険」が29.2%（前回27.8%）と最も多く、次いで「医療保険」28.1%（前回27.0%）、「ガン保険」10.5%（前回10.5%）となっている。このうち遺族保障機能を主目的とした「終身保険」、「定期保険」、「定期付終身保険」の割合は40.7%を占めている。

前回と比較すると、「養老保険」が1.5ポイント、「生活障害・就業不能保障保険」が1.2ポイント、それぞれ減少している。（図表I-156）

〈図表I-156〉直近加入契約（民保）の保険種類

	終身保険	定期保険	定期付終身保険	利率変動型積立終身保険	養老保険	医療保険*	医療保険*		ガン保険	介護保険	こども保険	変額保険	生活障害・就業不能保障保険*	その他の生命保険	個人年金保険	変額個人年金保険	不明
							有期型	終身型									
2024（令和6）年調査 （2019～2024年に加入）	29.2	8.3	3.2	2.8	1.7	28.1	12.5	15.6	10.5	2.5	1.8	1.7	1.4	2.9	3.6	1.0	1.3
2021（令和3）年調査 （2016～2021年に加入）	27.8	8.7	3.3	2.8	3.2	27.0	—	—	10.5	1.9	2.5	0.8	2.6	2.8	4.0	1.0	1.0
2018（平成30）年調査 （2013～2018年に加入）	35.3	9.2	5.0	2.1	4.6	23.3	—	—	7.3	0.8	2.3	1.1	1.5	2.0	3.7	0.6	1.3
2015（平成27）年調査 （2010～2015年に加入）	35.4	7.6	6.9	3.5	3.1	24.4	—	—	6.5	0.7	4.1	0.6	—	2.2	3.6	0.5	0.8
2012（平成24）年調査 （2007～2012年に加入）	38.4	8.8	7.9	3.9	4.4	19.7	—	—	6.5	0.5	3.6	0.1	—	1.7	3.1	0.3	1.1

*かんぽ生命を除く

*「生活障害・就業不能保障保険」は、2018（平成30）年調査より追加

*2024（令和6）年調査より「医療保険」を「医療保険（有期型）」と「医療保険（終身型）」の2つに細分化しているため、単純に時系列比較はできない

加入者（被保険者）別にみると、「世帯主」で「終身保険」（32.4%）、「定期保険」（9.7%）、「定期付終身保険」（4.3%）、「生活障害・就業不能保障保険」（2.2%）が、「配偶者」で「個人年金保険」（5.6%）が、それぞれ高くなっている。（図表 I -157）

〈図表 I -157〉直近加入契約（民保）の保険種類（加入者（被保険者）別）

	終身保険	定期保険	定期付終身保険	利率変動型積立終身保険	養老保険	医療保険	終身型		ガン保険	介護保険	こども保険	変額保険	生活障害・就業不能保障保険	その他の生命保険	個人年金保険	変額個人年金保険	不明	
							有期型	終身型										
全 体	29.2	8.3	3.2	2.8	1.7	28.1	12.5	15.6	10.5	2.5	1.8	1.7	1.4	2.9	3.6	1.0	1.3	
世 帯 主	32.4	9.7	4.3	3.1	1.0	24.0	8.7	15.3	11.2	2.9	0.9	1.6	2.2	2.1	3.1	0.6	0.9	
配 偶 者	31.1	4.1	1.1	1.9	2.2	30.4	13.3	17.0	12.6	2.6	0.0	2.2	0.4	1.9	5.6	1.9	2.2	
子 ども（計）	14.3	9.5	1.8	3.0	4.2	43.5	28.0	15.5	3.0	1.2	8.3	1.2	0.0	5.4	3.0	1.8	0.0	
子ども（未婚で就学前・就学中）	12.0	9.8	0.0	2.2	1.1	41.3	33.7	7.6	3.3	0.0	15.2	2.2	0.0	7.6	4.3	1.1	0.0	
子ども（未婚で就学終了）	16.7	9.1	4.5	4.5	9.1	43.9	21.2	22.7	3.0	1.5	0.0	0.0	0.0	3.0	1.5	3.0	0.0	

*かんぽ生命を除く

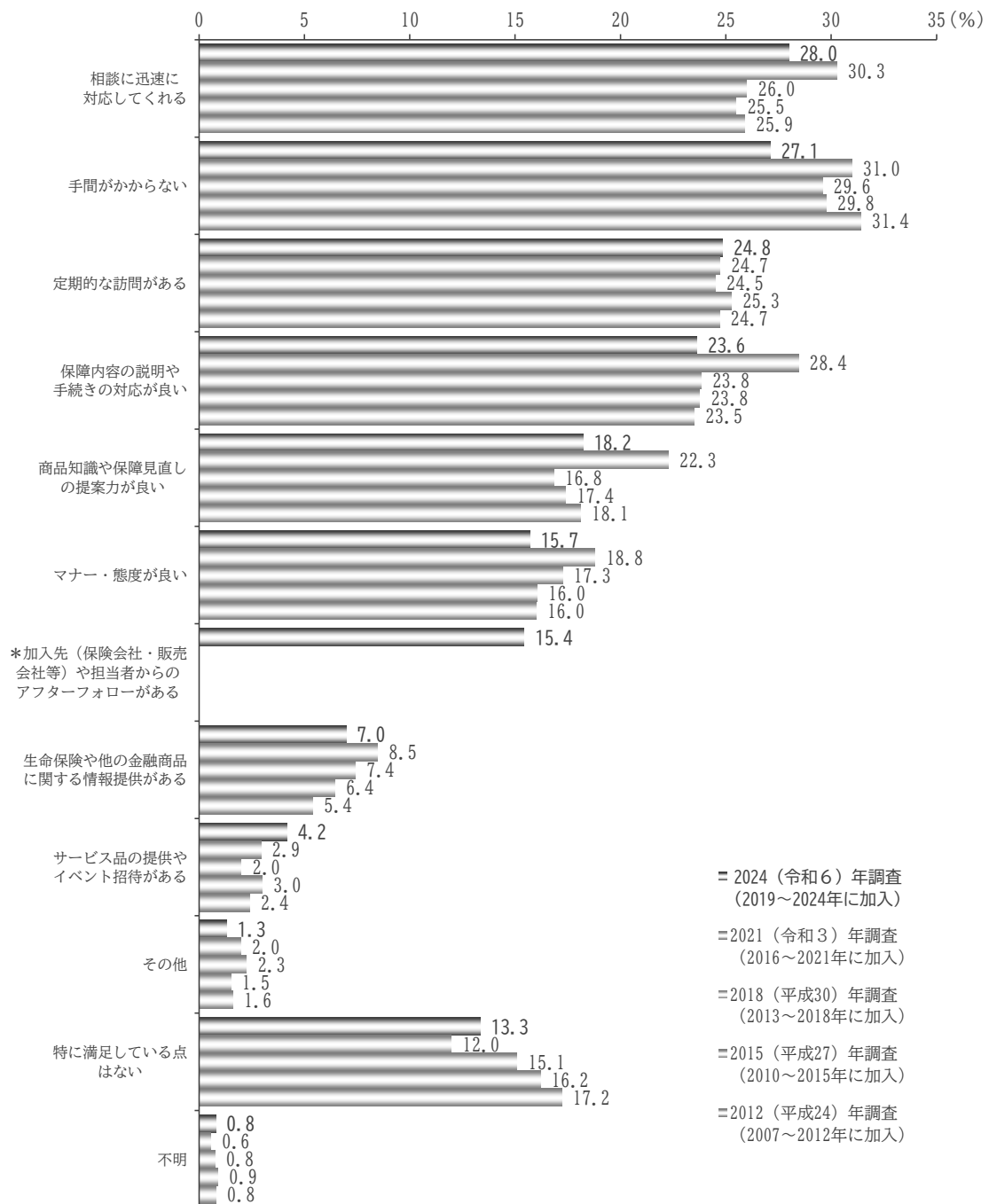
(ス)直近加入契約（民保）の加入チャンネルに対する満足度

(a)加入チャンネルに満足している点

直近加入契約が2019（令和元）年以降の民保加入世帯（かんぽ生命を除く）に、加入したときのチャンネルについて現在どのような点に満足しているかを尋ねたところ、「相談に迅速に対応してくれる」が28.0%（前回30.3%）と最も多く、次いで「手間がかからない」27.1%（前回31.0%）、「定期的な訪問がある」24.8%（前回24.7%）となっている。

前回と比較すると、「保障内容の説明や手続きの対応が良い」が4.8ポイント、「商品知識や保障見直しの提案力が良い」が4.1ポイント、「手間がかからない」が3.9ポイント、それぞれ減少している。（図表 I-158）

〈図表 I-158〉直近加入契約（民保）の加入チャンネルに満足している点（複数回答）



*かんぽ生命を除く

*「加入先（保険会社・販売会社等）や担当者からのアフターフォローがある」は、2024（令和6）年調査より追加

加入年次別にみると、「相談に迅速に対応してくれる」、「定期的な訪問がある」および「保障内容の説明や手続きの対応が良い」は「2024（令和6）年に加入」で3割を超えているほか、「生命保険や他の金融商品に関する情報提供がある」は「2024（令和6）年に加入」で12.7%と高くなっている。（図表 I-159）

〈図表 I-159〉直近加入契約（民保）の加入チャンネルに満足している点（加入年次別）
（複数回答）

	相談に迅速に対応してくれる	手間がかからない	定期的な訪問がある	保障内容の説明や手続きの対応が良い	商品知識や保障見直しの提案が良い	マナー・態度が良い	加入先（保険会社・販売会社等）や担当者からのアフターフォローがある	生命保険や他の金融商品に関する情報提供がある	サービス品の提供やイベント招待がある	その他	特に満足している点はない	不明
2024（令和6）年に加入	33.1	27.5	30.3	30.3	23.9	19.7	16.9	12.7	4.2	0.7	7.0	2.8
2023（令和5）年に加入	29.2	24.5	24.1	23.5	21.6	14.4	18.2	7.8	5.6	2.5	10.3	0.6
2022（令和4）年に加入	22.7	30.3	22.7	25.1	19.9	17.1	10.0	4.7	4.3	0.9	15.2	0.5
2021（令和3）年に加入	27.1	24.9	28.2	23.2	15.5	12.7	14.9	6.1	2.8	0.0	20.4	0.0
2020（令和2）年に加入	31.1	30.4	21.5	18.5	8.9	9.6	10.4	5.9	3.0	0.7	14.8	0.7
2019（令和元）年に加入	26.4	27.7	23.3	20.8	15.1	21.4	20.8	5.0	3.8	1.9	13.2	0.6

*かんぽ生命を除く

*2024（令和6）年調査が対象

世帯主年齢別にみると、「手間がかからない」は「40～44歳」で、「定期的な訪問がある」は「60～64歳」で、「加入先（保険会社・販売会社等）や担当者からのアフターフォローがある」は「40～44歳」で、それぞれ高くなっている。（図表 I -160）

〈図表 I -160〉直近加入契約（民保）の加入チャンネルに満足している点
（世帯主年齢別）（複数回答）

	相談に迅速に対応してくれる	手間がかからない	定期的な訪問がある	保障内容の説明や手続きの対応が良い	商品知識や保障見直しの提案力が良い	マナー・態度が良い	加入先（保険会社・販売会社等）や担当者からのアフターフォローがある	生命保険や他の金融商品に関する情報提供がある	招待がある	サービス品の提供やイベント	その他	特に満足している点はない	不明
全体	28.0	27.1	24.8	23.6	18.2	15.7	15.4	7.0	4.2	1.3	13.3	0.8	
29歳以下	20.6	38.2	17.6	29.4	14.7	8.8	23.5	2.9	5.9	0.0	5.9	0.0	
30～34歳	29.8	21.1	14.0	26.3	26.3	14.0	14.0	12.3	3.5	0.0	10.5	0.0	
35～39歳	30.5	28.2	14.5	24.4	18.3	15.3	19.8	6.1	3.8	0.0	15.3	0.8	
40～44歳	31.6	35.7	23.5	18.4	19.4	14.3	22.4	8.2	6.1	0.0	12.2	1.0	
45～49歳	27.2	31.2	19.2	17.6	16.8	16.0	12.0	8.0	4.0	2.4	13.6	0.0	
50～54歳	29.8	31.5	24.2	25.8	16.9	16.9	14.5	8.9	7.3	1.6	16.9	0.0	
55～59歳	28.9	28.1	28.9	21.9	22.7	18.8	14.1	7.0	3.1	1.6	10.2	1.6	
60～64歳	26.8	22.8	36.2	18.9	15.0	18.9	17.3	7.1	4.7	3.1	12.6	0.0	
65～69歳	28.1	17.5	26.3	24.6	21.1	12.3	8.8	7.9	1.8	0.9	14.0	1.8	
70～74歳	24.3	27.9	28.8	28.8	17.1	12.6	17.1	5.4	4.5	0.9	12.6	1.8	
75～79歳	28.6	21.4	30.4	30.4	17.9	16.1	8.9	3.6	3.6	0.0	16.1	1.8	
80～84歳	30.0	23.3	36.7	26.7	6.7	23.3	20.0	0.0	0.0	3.3	13.3	0.0	
85～89歳	0.0	12.5	0.0	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	37.5	0.0	
90歳以上	0.0	0.0	50.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

*かんぽ生命を除く

*85～89歳、90歳以上はサンプルが30未満

加入チャネル別にみると、「家庭に来る営業職員」では「相談に迅速に対応してくれる」、「定期的な訪問がある」、「保障内容の説明や手続きの対応が良い」、「商品知識や保障見直しの提案力が良い」、「マナー・態度が良い」、「サービス品の提供やイベント招待がある」が、「職場に来る営業職員」では「定期的な訪問がある」が、「通信販売」では「手間がかからない」が、それぞれ高くなっている。また、「銀行・証券会社を通して」では「生命保険や他の金融商品に関する情報提供がある」が高くなっている。(図表 I-161)

〈図表 I-161〉直近加入契約（民保）の加入チャネルに満足している点
（主な加入チャネル別）（複数回答）

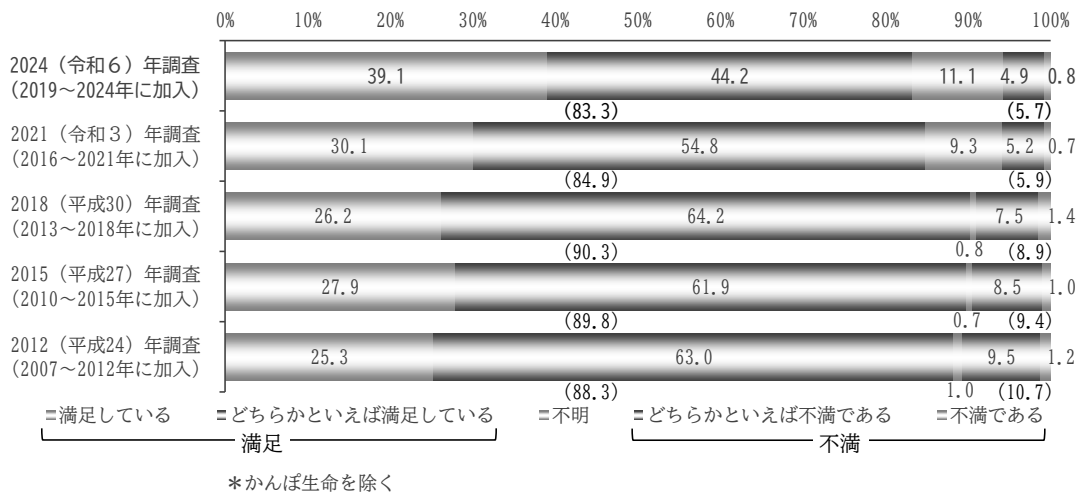
	相談に迅速に対応してくれる	手間がかからない	定期的な訪問がある	保障内容の説明や手続きの対応が良い	商品知識や保障見直しの提案力が良い	マナー・態度が良い	等（先）や担当者からのアフターフォローがある	加入先（保険会社・販売会社）に関する情報提供がある	生命保険や他の金融商品に関する情報提供がある	招待がある	サービス品の提供やイベント	その他	特に満足している点はない	(%) 不明
全体	28.0	27.1	24.8	23.6	18.2	15.7	15.4	7.0	4.2	1.3	13.3	0.8		
家庭に来る営業職員	32.8	17.0	38.9	28.2	21.5	20.3	16.3	6.3	6.3	1.1	11.5	0.4		
職場に来る営業職員	33.6	28.1	33.6	20.3	15.6	18.0	19.5	4.7	5.5	0.0	9.4	0.0		
通信販売	5.6	70.0	1.1	5.6	0.0	0.0	3.3	2.2	0.0	0.0	22.2	0.0		
銀行・証券会社を通して	14.8	24.1	20.4	14.8	16.7	11.1	11.1	18.5	0.0	1.9	24.1	0.0		
保険代理店の窓口や営業職員	27.8	23.3	7.2	26.7	22.8	12.8	15.6	8.9	1.1	2.2	16.1	0.0		

*かんぽ生命を除く

(b) 加入チャネルに対する満足度

直近加入契約が2019（令和元）年以降の民保加入世帯（かんぽ生命を除く）に、加入したときのチャネルについて現在どの程度満足しているかを尋ねたところ、『満足』（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計）が83.3%（前回84.9%）と、『不満』（「どちらかといえば不満である」と「不満である」の合計）5.7%（前回5.9%）を大きく上回っている。（図表 I-162）

〈図表 I-162〉直近加入契約（民保）の加入チャネルに対する満足度



加入年次別にみると、「満足している」の割合は概ね加入年次が新しいほど高く、「2024（令和6）年に加入」で52.8%と最も高くなっている。（図表 I-163）

〈図表 I-163〉直近加入契約（民保）の加入チャネルに対する満足度（加入年次別）

	（％）						
	満足している	どちらかといえば満足している	満足	不明	不満	どちらかといえば不満である	不満である
2024（令和6）年に加入	52.8	35.9	88.7	10.6	0.7	0.7	0.0
2023（令和5）年に加入	44.2	42.3	86.5	8.8	4.7	4.1	0.6
2022（令和4）年に加入	37.9	44.5	82.5	13.3	4.3	4.3	0.0
2021（令和3）年に加入	29.8	45.9	75.7	12.7	11.6	8.8	2.8
2020（令和2）年に加入	31.1	49.6	80.7	11.9	7.4	7.4	0.0
2019（令和元）年に加入	35.2	48.4	83.6	10.7	5.7	4.4	1.3

*かんぽ生命を除く
*2024（令和6）年調査が対象

世帯主年齢別にみると、「満足している」は「30～34歳」(54.4%)、「35～39歳」(51.9%)で高くなっている。(図表 I-164)

〈図表 I-164〉直近加入契約(民保)の加入チャンネルに対する満足度(世帯主年齢別)

(%)

	満足している	どちらかといえ ば満足している	満足	不明	不満	どちらかといえ ば不満である	不満である
全 体	39.1	44.2	83.3	11.1	5.7	4.9	0.8
29歳以下	52.9	41.2	94.1	2.9	2.9	2.9	0.0
30～34歳	54.4	35.1	89.5	7.0	3.5	3.5	0.0
35～39歳	51.9	30.5	82.4	11.5	6.1	5.3	0.8
40～44歳	39.8	43.9	83.7	13.3	3.1	2.0	1.0
45～49歳	40.8	42.4	83.2	11.2	5.6	5.6	0.0
50～54歳	41.9	40.3	82.3	12.9	4.8	4.8	0.0
55～59歳	41.4	43.8	85.2	7.8	7.0	6.3	0.8
60～64歳	31.5	52.8	84.3	9.4	6.3	4.7	1.6
65～69歳	26.3	56.1	82.5	12.3	5.3	3.5	1.8
70～74歳	25.2	56.8	82.0	11.7	6.3	5.4	0.9
75～79歳	41.1	37.5	78.6	19.6	1.8	1.8	0.0
80～84歳	33.3	46.7	80.0	13.3	6.7	6.7	0.0
85～89歳	12.5	25.0	37.5	0.0	62.5	50.0	12.5
90歳以上	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

*かんぽ生命を除く

*85～89歳、90歳以上はサンプルが30未満

加入チャネル別にみると、「満足している」は「家庭に来る営業職員」で42.7%と高くなっている。(図表 I-165)

〈図表 I-165〉直近加入契約(民保)の加入チャネルに対する満足度
(主な加入チャネル別)

(%)

	満足している	満どちらかといえ ば	満 足	不 明	不 満	不 満 で あ る か と い え ば	不 満 で あ る
	全 体	39.1	44.2	83.3	11.1	5.7	4.9
家庭に来る営業職員	42.7	42.3	85.1	8.8	6.1	5.7	0.4
職場に来る営業職員	35.9	51.6	87.5	6.3	6.3	4.7	1.6
通 信 販 売	27.8	48.9	76.7	21.1	2.2	2.2	0.0
銀行・証券会社を通して	27.8	46.3	74.1	22.2	3.7	3.7	0.0
保険代理店の窓口や営業職員	40.0	40.6	80.6	12.8	6.7	5.0	1.7

*かんぽ生命を除く

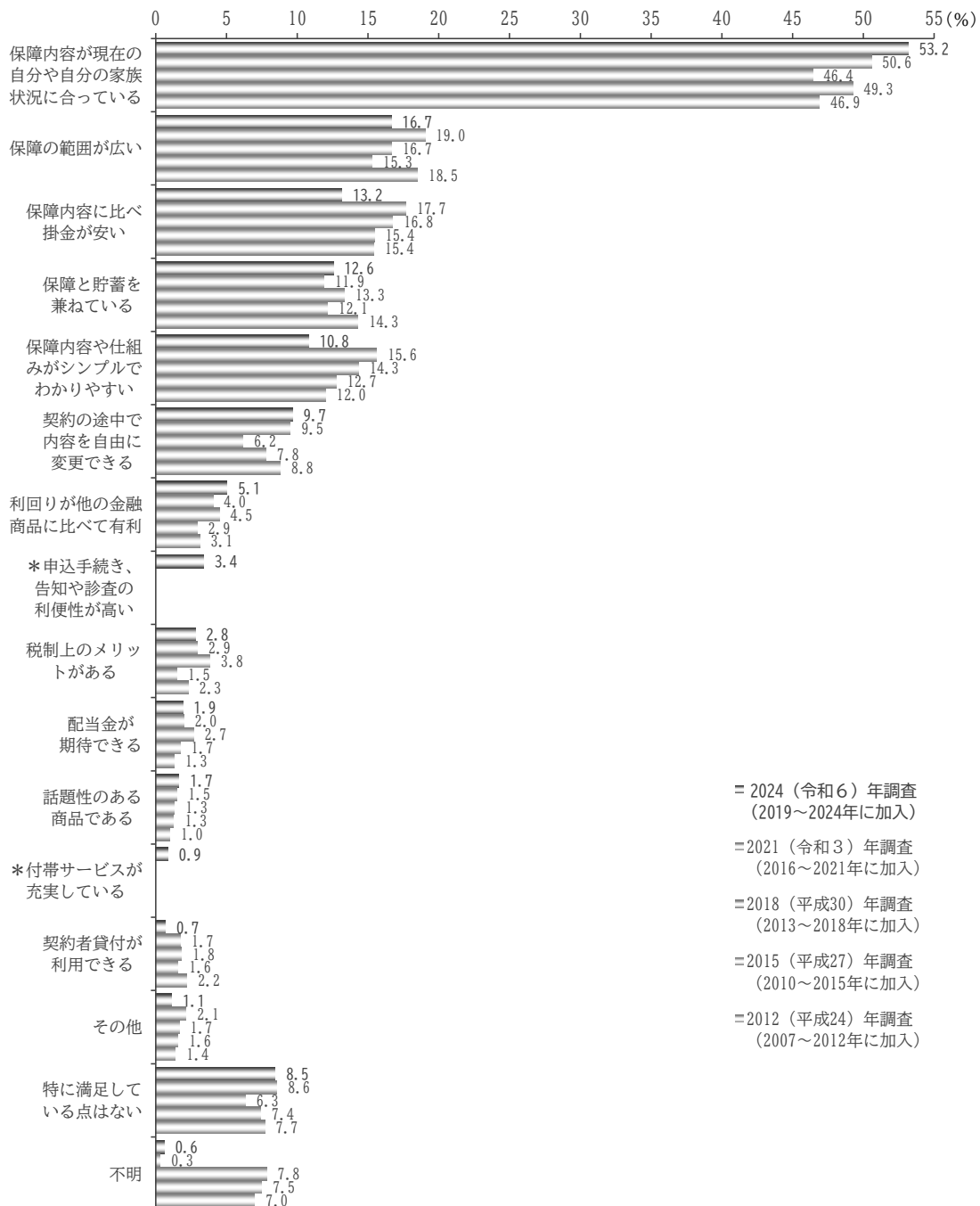
(セ)直近加入契約（民保）の商品に対する満足度

(a)商品に満足している点

直近加入契約が2019（令和元）年以降の民保加入世帯（かんぽ生命を除く）に、直近に加入した生命保険商品について現在どのような点に満足しているかを尋ねたところ、「保障内容が現在の自分や自分の家族状況に合っている」が53.2%（前回50.6%）と最も多く、次いで「保障の範囲が広い」16.7%（前回19.0%）、「保障内容に比べ掛金が安い」13.2%（前回17.7%）となっている。

前回と比較すると、「保障内容に比べ掛金が安い」が4.5ポイント、「保障内容や仕組みがシンプルでわかりやすい」が4.8ポイント、「契約者貸付が利用できる」が1.0ポイント、それぞれ減少している。（図表I-166）

〈図表I-166〉直近加入契約（民保）の商品に満足している点（複数回答）



*かんぽ生命を除く

*「申込手続き、告知や診査の利便性が高い」、「付帯サービスが充実している」は、2024（令和6）年調査より追加

世帯主年齢別にみると、「保障の範囲が広い」は「40～44歳」で、「保障内容や仕組みがシンプルでわかりやすい」は「50～54歳」および「70～74歳」で、「契約の途中で内容を自由に変更できる」は「40～44歳」で、それぞれ高くなっている。また、「利回りが他の金融商品に比べて有利」は「65～69歳」で、「話題性のある商品である」は「40～44歳」および「80～84歳」で、それぞれ高くなっている。(図表 I-167)

〈図表 I-167〉直近加入契約(民保)の商品に満足している点(世帯主年齢別)
(複数回答)

	保障の範囲が広い	保障内容が現在の自分や自	保障内容に比べ掛金が安い	保障と貯蓄を兼ねている	保障内容や仕組みがシンプルでわかりやすい	契約の途中で内容を自由に	変更できる	利回りが他の金融商品に比	べて有利	利回りが高い	申込手続き告知や診査の利	便性が高い	税制上のメリットがある	配当金が期待できる	話題性のある商品である	付帯サービスが充実してい	る	契約者貸付が利用できる	その他	特に満足している点はない	不明
全 体	53.2	16.7	13.2	12.6	10.8	9.7	5.1	3.4	2.8	1.9	1.7	0.9	0.7	1.1	8.5	0.6					
29歳以下	58.8	17.6	14.7	20.6	5.9	8.8	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.8	0.0	
30～34歳	61.4	22.8	14.0	19.3	12.3	7.0	8.8	0.0	1.8	5.3	3.5	0.0	1.8	0.0	0.0	3.5	0.0	0.0	3.5	0.0	
35～39歳	55.0	17.6	12.2	14.5	7.6	10.7	5.3	2.3	3.1	2.3	1.5	0.8	0.8	2.3	6.9	0.8					
40～44歳	46.9	24.5	16.3	14.3	6.1	16.3	5.1	3.1	4.1	0.0	4.1	1.0	1.0	2.0	7.1	1.0					
45～49歳	52.8	16.8	13.6	11.2	12.0	8.0	2.4	3.2	1.6	1.6	0.0	0.8	0.0	0.0	12.0	0.0					
50～54歳	55.6	16.1	18.5	8.1	16.1	8.9	2.4	4.8	4.0	1.6	0.8	0.0	0.8	3.2	5.6	0.0					
55～59歳	57.0	18.0	9.4	6.3	14.1	9.4	0.8	3.1	3.9	0.8	0.0	2.3	0.0	1.6	7.8	0.8					
60～64歳	59.1	16.5	11.0	12.6	3.9	7.9	7.9	1.6	0.0	0.8	2.4	0.8	1.6	0.0	8.7	0.8					
65～69歳	53.5	14.0	10.5	13.2	10.5	9.6	10.5	0.9	1.8	0.9	0.0	0.0	0.0	5.3	0.9						
70～74歳	47.7	11.7	10.8	10.8	18.0	10.8	4.5	7.2	3.6	3.6	1.8	0.9	1.8	0.0	13.5	0.9					
75～79歳	42.9	10.7	19.6	16.1	10.7	5.4	5.4	8.9	5.4	1.8	3.6	1.8	0.0	8.9	1.8						
80～84歳	36.7	10.0	10.0	20.0	10.0	13.3	6.7	3.3	3.3	6.7	6.7	0.0	0.0	3.3	13.3	0.0					
85～89歳	25.0	12.5	25.0	12.5	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	37.5	0.0					
90歳以上	75.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

*かんぽ生命を除く

*85～89歳、90歳以上はサンプルが30未満

加入保険種類別にみると、「保障内容が現在の自分や自分の家族状況に合っている」は「定期付終身保険」、「ガン保険」で高く、「保障内容に比べ掛金が安い」は、「定期保険」および「医療保険（有期型）」で高くなっている。

また、「保障と貯蓄を兼ねている」は「利率変動型積立終身保険」、「養老保険」、「個人年金保険」で高くなっている。（図表 I-168）

〈図表 I-168〉直近加入契約（民保）の商品に満足している点（加入保険種類別）
（複数回答）

	保障内容が現在の自分や自分の家族状況に合っている	保障の範囲が広い	保障内容に比べ掛金が安い	保障と貯蓄を兼ねている	保障内容や仕組みがシンプルでわかりやすい	契約の途中で内容を自由に変更できる	べて有利	利回りが他の金融商品に比べて高い	申込手続き告知や診査の利便性が高い	税制上のメリットがある	配当金が期待できる	話題性のある商品である	付帯サービスが充実している	契約者貸付が利用できる	その他	特に満足している点はない	不明
全体	53.2	16.7	13.2	12.6	10.8	9.7	5.1	3.4	2.8	1.9	1.7	0.9	0.7	1.1	8.5	0.6	
終身保険	50.7	14.9	10.1	14.0	7.8	9.6	7.5	2.4	2.7	2.1	1.5	0.3	0.3	1.2	10.1	0.6	
定期保険	53.7	10.5	23.2	4.2	14.7	13.7	1.1	4.2	3.2	1.1	0.0	2.1	1.1	1.1	7.4	0.0	
定期付終身保険	67.6	24.3	5.4	13.5	16.2	10.8	0.0	8.1	2.7	0.0	0.0	2.7	2.7	2.7	8.1	0.0	
利率変動型積立終身保険	46.9	21.9	3.1	37.5	0.0	3.1	15.6	3.1	6.3	3.1	6.3	0.0	0.0	0.0	6.3	3.1	
養老保険	25.0	20.0	10.0	45.0	5.0	20.0	10.0	5.0	5.0	10.0	5.0	5.0	0.0	5.0	5.0	0.0	
医療保険（有期型）	56.6	19.6	21.0	3.5	12.6	9.1	0.0	3.5	1.4	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	4.9	1.4	
医療保険（終身型）	58.1	21.2	16.8	6.7	11.7	9.5	0.6	3.9	1.7	0.6	1.1	0.0	0.0	1.1	10.1	0.0	
ガン保険	61.7	17.5	14.2	5.0	13.3	10.0	3.3	1.7	2.5	1.7	1.7	2.5	0.8	0.0	7.5	0.0	
子ども保険	42.9	23.8	0.0	23.8	9.5	9.5	4.8	9.5	4.8	0.0	4.8	4.8	4.8	4.8	9.5	0.0	
生活障害・就業不能保障保険	68.8	18.8	12.5	6.3	6.3	18.8	0.0	6.3	0.0	0.0	6.3	6.3	0.0	6.3	12.5	0.0	
個人年金保険	41.5	9.8	0.0	31.7	12.2	4.9	7.3	4.9	14.6	7.3	2.4	0.0	0.0	2.4	4.9	0.0	

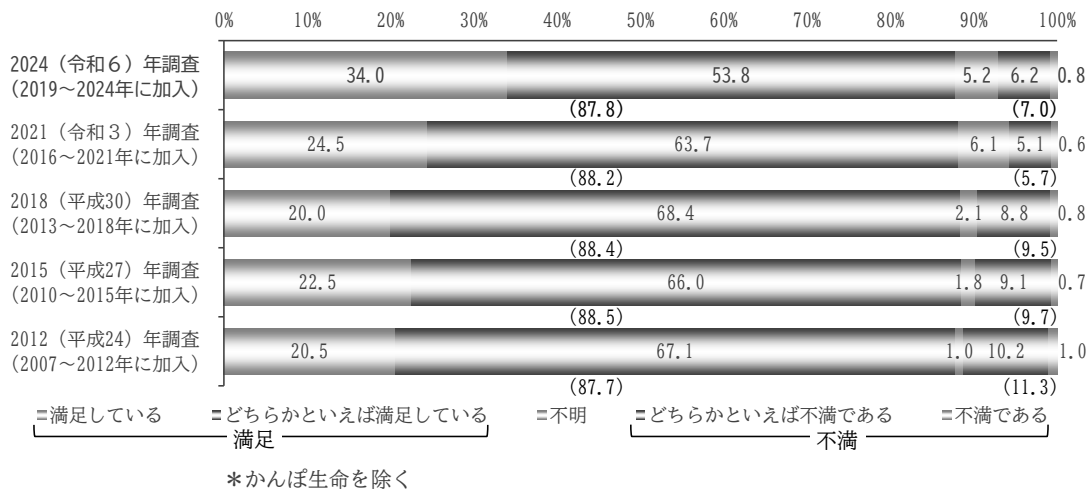
*かんぽ生命を除く

*養老保険、子ども保険、生活障害・就業不能保障保険はサンプルが30未満

(b) 商品に対する満足度

直近加入契約が2019（令和元）年以降の民保加入世帯（かんぽ生命を除く）に、直近に加入した生命保険商品について現在の程度満足しているかを尋ねたところ、『満足』（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計）が87.8%（前回88.2%）と、『不満』（「どちらかといえば不満である」と「不満である」の合計）7.0%（前回5.7%）を大きく上回っている。（図表 I-169）

〈図表 I-169〉直近加入契約（民保）の商品に対する満足度



加入年次別にみると、「満足している」は概ね加入年次が新しいほど高く、「2024（令和6）年に加入」の層で48.6%と高くなっている。（図表 I-170）

〈図表 I-170〉直近加入契約（民保）の商品に対する満足度（加入年次別）

	（％）						
	満足している	どちらかといえば満足している	満足	不明	不満	どちらかといえば不満である	不満である
2024（令和6）年に加入	48.6	45.8	94.4	3.5	2.1	2.1	0.0
2023（令和5）年に加入	37.6	52.0	89.7	5.3	5.0	5.0	0.0
2022（令和4）年に加入	34.1	55.9	90.0	4.7	5.2	5.2	0.0
2021（令和3）年に加入	26.5	55.8	82.3	3.3	14.4	11.0	3.3
2020（令和2）年に加入	24.4	61.5	85.9	6.7	7.4	7.4	0.0
2019（令和元）年に加入	30.2	52.8	83.0	8.2	8.8	6.9	1.9

*かんぽ生命を除く
 *2024（令和6）年調査が対象

世帯主年齢別にみると、「満足している」は「39歳以下」の層で4割を超えて高くなっている。(図表 I-171)

〈図表 I-171〉直近加入契約（民保）の商品に対する満足度（世帯主年齢別）

	(%)						
	満足している	どちらかといえ ば満足している	満足	不明	不満	どちらかといえ ば不満である	不満である
全 体	34.0	53.8	87.8	5.2	7.0	6.2	0.8
29歳以下	52.9	38.2	91.2	5.9	2.9	2.9	0.0
30～34歳	49.1	43.9	93.0	1.8	5.3	3.5	1.8
35～39歳	44.3	44.3	88.5	3.1	8.4	6.9	1.5
40～44歳	32.7	55.1	87.8	9.2	3.1	2.0	1.0
45～49歳	36.8	49.6	86.4	7.2	6.4	6.4	0.0
50～54歳	32.3	57.3	89.5	3.2	7.3	7.3	0.0
55～59歳	39.1	50.0	89.1	3.1	7.8	7.0	0.8
60～64歳	26.8	63.0	89.8	3.1	7.1	6.3	0.8
65～69歳	21.9	64.9	86.8	4.4	8.8	7.9	0.9
70～74歳	22.5	61.3	83.8	9.0	7.2	6.3	0.9
75～79歳	37.5	51.8	89.3	8.9	1.8	1.8	0.0
80～84歳	26.7	53.3	80.0	6.7	13.3	10.0	3.3
85～89歳	12.5	37.5	50.0	12.5	37.5	37.5	0.0
90歳以上	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

*かんぽ生命を除く

*85～89歳、90歳以上はサンプルが30未満

世帯主年齢別にみると、「満足している」は「39歳以下」の層で4割を超えて高くなっている。(図表 I-174)

〈図表 I-174〉直近加入契約（民保）の商品・サービスに対する総合満足度
（世帯主年齢別）

(%)

	満足している	満足しているかといえ ば	満 足	不 明	不 満	不 満 である かとい え ば	不 満 である
全 体	33.3	58.9	92.2	0.8	7.0	6.0	1.0
29歳以下	52.9	44.1	97.1	0.0	2.9	2.9	0.0
30～34歳	56.1	40.4	96.5	0.0	3.5	1.8	1.8
35～39歳	42.0	51.1	93.1	0.0	6.9	5.3	1.5
40～44歳	33.7	62.2	95.9	1.0	3.1	2.0	1.0
45～49歳	39.2	53.6	92.8	0.8	6.4	5.6	0.8
50～54歳	33.1	58.9	91.9	0.8	7.3	7.3	0.0
55～59歳	35.9	53.9	89.8	0.8	9.4	8.6	0.8
60～64歳	27.6	63.0	90.6	0.8	8.7	7.9	0.8
65～69歳	16.7	75.4	92.1	0.9	7.0	5.3	1.8
70～74歳	21.6	69.4	91.0	1.8	7.2	6.3	0.9
75～79歳	32.1	60.7	92.9	1.8	5.4	5.4	0.0
80～84歳	26.7	63.3	90.0	0.0	10.0	6.7	3.3
85～89歳	0.0	62.5	62.5	0.0	37.5	37.5	0.0
90歳以上	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

*かんぽ生命を除く

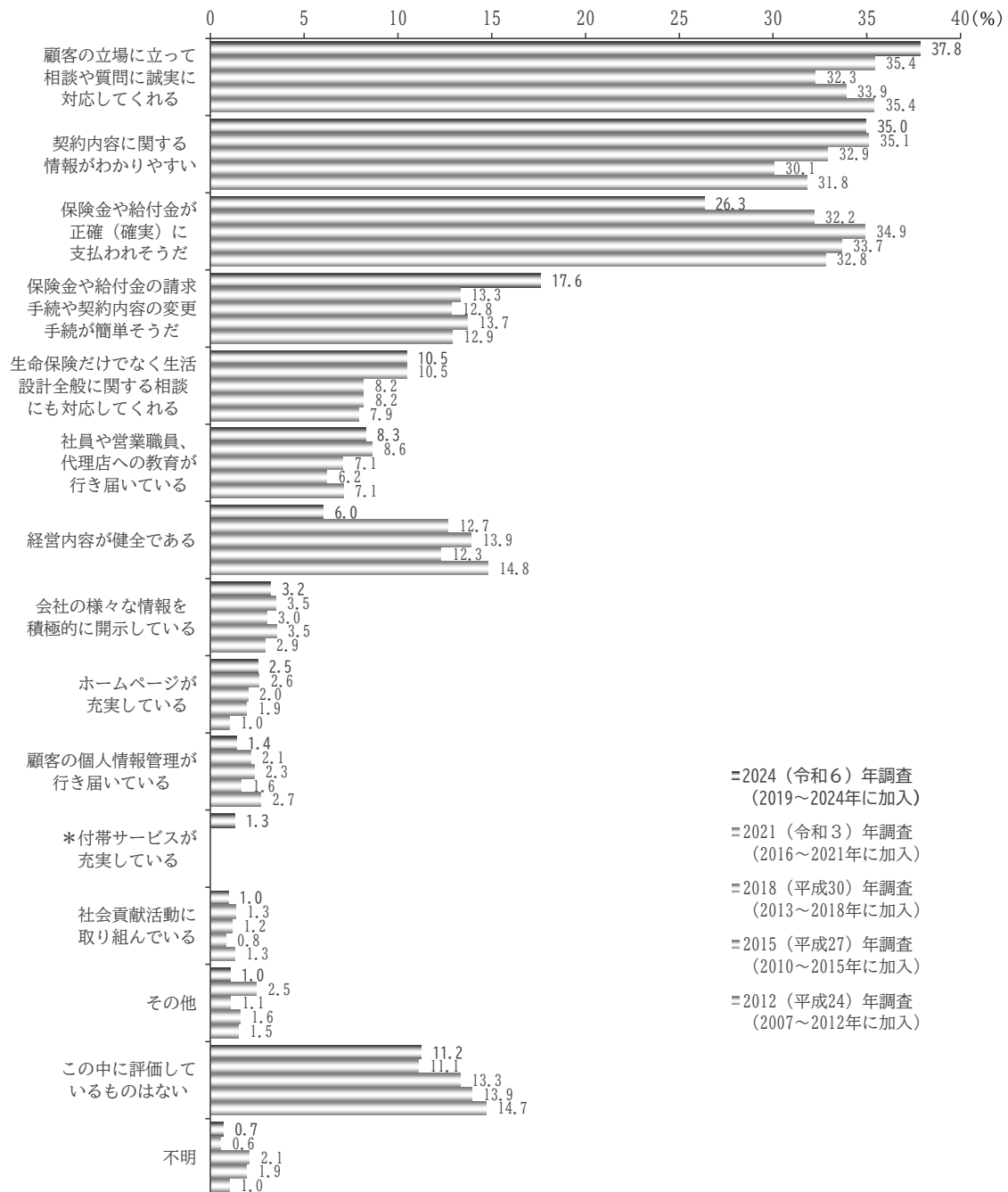
*85～89歳、90歳以上はサンプルが30未満

(タ)直近加入契約（民保）の生命保険会社について評価している点

直近加入契約が2019（令和元）年以降の民保加入世帯（かんぽ生命を除く）に、直近に加入した生命保険会社について現在どのような点を評価しているかを尋ねたところ、「顧客の立場に立って相談や質問に誠実に対応してくれる」が37.8%（前回35.4%）と最も多く、次いで「契約内容に関する情報がわかりやすい」35.0%（前回35.1%）、「保険金や給付金が正確（確実）に支払われそう」26.3%（前回32.2%）となっている。

前回と比較すると、「保険金や給付金の請求手続や契約内容の変更手続が簡単そう」が4.3ポイント増加し、「保険金や給付金が正確（確実）に支払われそう」が5.9ポイント、「経営内容が健全である」が6.7ポイント、それぞれ減少している。（図表I-175）

〈図表I-175〉直近加入契約（民保）の生命保険会社について評価している点（複数回答）



*かんぽ生命を除く

*「付帯サービスが充実している」は、2024(令和6)年調査より追加

加入年次別にみると、「契約内容に関する情報がわかりやすい」は「2024（令和6）年に加入」で43.0%と高くなっている。（図表 I -176）

〈図表 I -176〉直近加入契約（民保）の生命保険会社について評価している点
（加入年次別）（複数回答）

	誠実に顧客の立場に対応して相談や質問に	契約内容に関する情報がわかりやすい	支払われそうだし	保険金や給付金が正確（確実）に	保険金や給付金の請求手続や契約内容の変更手続が簡単そうだし	生命保険だけでなく生活設計全般に関する相談にも対応してくれる	社員や営業職員、代理店への教育が行き届いている	経営内容が健全である	会社の様々な情報を積極的に開示している	ホームページが充実している	顧客の個人情報管理が行き届いている	付帯サービスが充実している	社会貢献活動に取り組んでいる	その他	この中に評価しているものはない	不明
2024（令和6）年に加入	42.3	43.0	25.4	21.1	12.0	9.2	7.7	3.5	0.7	2.1	2.1	1.4	0.7	7.0	2.8	
2023（令和5）年に加入	39.8	33.2	25.1	15.7	10.3	8.8	6.9	4.4	1.9	2.2	1.6	2.2	1.6	7.8	1.3	
2022（令和4）年に加入	34.1	34.1	24.2	17.1	10.9	7.1	5.2	3.3	2.8	0.0	1.4	0.0	1.9	11.4	0.0	
2021（令和3）年に加入	33.1	30.9	25.4	16.0	11.0	6.6	6.1	3.3	2.2	1.1	0.6	0.6	0.0	21.0	0.0	
2020（令和2）年に加入	34.8	31.1	28.9	19.3	10.4	7.4	4.4	2.2	3.0	0.0	0.7	0.0	0.0	14.8	0.0	
2019（令和元）年に加入	42.8	40.3	31.4	19.5	8.2	10.7	5.0	1.3	5.0	2.5	1.3	0.6	1.3	7.5	0.0	

*かんぽ生命を除く

*2024（令和6）年調査が対象

世帯主年齢別にみると、「契約内容に関する情報がわかりやすい」は「30～34歳」および「75～79歳」で、「保険金や給付金が正確（確実）に支払われそう」は「70～74歳」で、「生命保険だけでなく生活設計全般に関する相談にも対応してくれる」は「40～44歳」で、それぞれ高くなっている。（図表 I-177）

〈図表 I-177〉直近加入契約（民保）の生命保険会社について評価している点
（世帯主年齢別）（複数回答）

	誠実な顧客の立場に立って対応してくれる	契約内容に関する情報がわかりやすい	保険金や給付金が正確（確実）に支払われそう	保険金や給付金の請求手続きや契約内容の変更が簡単そう	生命保険だけでなく生活設計全般に関する相談にも対応してくれる	社員や営業職員、代理店への教育が行き届いている	経営内容が健全である	会社の様々な情報を積極的に開示している	ホームページが充実している	顧客の個人情報管理が行き届いている	付帯サービスが充実している	社会貢献活動に取り組んでいる	その他	この中に評価しているものはない	不明
全体	37.8	35.0	26.3	17.6	10.5	8.3	6.0	3.2	2.5	1.4	1.3	1.0	1.0	11.2	0.7
29歳以下	29.4	32.4	14.7	11.8	14.7	8.8	2.9	2.9	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	14.7	0.0
30～34歳	35.1	47.4	29.8	8.8	17.5	5.3	5.3	8.8	1.8	1.8	1.8	3.5	1.8	7.0	1.8
35～39歳	35.1	40.5	20.6	11.5	13.7	8.4	3.1	1.5	1.5	0.0	2.3	0.0	0.8	14.5	0.0
40～44歳	43.9	29.6	33.7	17.3	18.4	11.2	9.2	2.0	2.0	2.0	1.0	6.1	3.1	11.2	1.0
45～49歳	26.4	37.6	25.6	16.8	10.4	9.6	4.0	1.6	7.2	0.0	1.6	0.0	0.8	10.4	0.0
50～54歳	41.1	37.1	22.6	23.4	8.9	8.1	5.6	4.8	3.2	2.4	0.8	0.8	1.6	14.5	0.0
55～59歳	43.8	29.7	24.2	18.0	8.6	7.8	6.3	4.7	3.1	2.3	0.8	0.8	0.8	8.6	1.6
60～64歳	44.1	29.1	27.6	16.5	7.1	7.1	3.1	3.1	0.0	1.6	2.4	0.0	0.0	8.7	0.0
65～69歳	41.2	31.6	24.6	19.3	9.6	9.6	7.0	2.6	2.6	0.0	0.9	0.0	0.9	14.0	0.9
70～74歳	34.2	36.9	34.2	23.4	5.4	5.4	12.6	4.5	0.0	1.8	1.8	0.9	0.9	10.8	1.8
75～79歳	32.1	48.2	28.6	25.0	8.9	7.1	8.9	1.8	1.8	5.4	0.0	0.0	0.0	5.4	1.8
80～84歳	46.7	23.3	23.3	13.3	10.0	13.3	3.3	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0
85～89歳	0.0	12.5	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	37.5	0.0
90歳以上	50.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

*かんぽ生命を除く

*85～89歳、90歳以上はサンプルが30未満

(2) 直近加入のかんぽ生命

(ア) 直近加入契約（かんぽ生命）の加入理由

かんぽ生命加入世帯の直近加入契約の加入理由をみると、「郵便局員・かんぽ生命の営業職員の人親身になって説明してくれたので」が22.8%（前回21.6%）と最も多くなっている。次いで、「希望にあった生命保険だったので」22.3%（前回23.5%）、「郵便局員・かんぽ生命の営業職員の人知り合いだったので」15.1%（前回13.1%）の順となっている。

（図表 I-178）

〈図表 I-178〉 直近加入契約（かんぽ生命）の加入理由（複数回答）

	郵便局員・かんぽ生命の営業職員の人親身になって説明してくれたので	希望にあった生命保険だったので	郵便局員・かんぽ生命の営業職員の人知り合いだったので	以前加入したことがあるので	以前から加入していた郵便局員・かんぽ生命の営業職員の人にすすめられたので	家族、友人、知人などにすすめられたので	掛金が安かったため	郵便貯金（定額貯金など）が満期になったため	かんぽ生命の生命保険、年金保険は利回りがいいから	政府が間接的に株式保有しているので安心できそうだと思うから	無診査だったので	従来なかったような新しい生命保険だったので	加入後のサービスがよいと思ったので	近くに他の生命保険会社、県民共済・生協等、JA（農協）が無く、これらの保険や共済に加入することができないから	その他	不明
2024 （令和6）年	22.8	22.3	15.1	13.7	13.0	11.6	10.7	8.1	4.4	3.3	2.1	2.1	1.6	0.5	4.9	13.3
2021 （令和3）年	21.6	23.5	13.1	16.1	18.9	9.3	5.7	9.1	3.8	3.6	4.0	0.8	1.5	0.4	5.3	13.1
2018 （平成30）年	27.5	19.7	11.2	16.3	21.0	5.6	7.3	9.8	3.8	5.4	5.0	1.7	3.5	0.6	3.5	17.5
2015 （平成27）年	23.9	19.2	14.9	16.2	19.4	8.5	7.2	11.5	5.8	5.3	5.8	1.7	2.6	0.4	4.1	12.2
2012 （平成24）年	24.6	21.0	14.6	18.1	18.6	8.4	9.8	12.4	5.0	8.6	7.6	1.9	2.4	0.2	4.5	9.8